



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和5年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和4年12月	令和5年3月	前回調査との差
茨城県	49.3	53.5	+4.2
県北地域	48.2	44.6	△3.6
県央地域	55.2	59.4	+4.2
鹿行地域	49.6	51.4	+1.8
県南地域	47.3	51.4	+4.1
県西地域	46.1	59.3	+13.2

《景気の先行き判断DI》

	令和4年12月	令和5年3月	前回調査との差
茨城県	45.6	55.8	+10.2
県北地域	40.2	53.9	+13.7
県央地域	43.5	60.7	+17.2
鹿行地域	48.2	53.7	+5.5
県南地域	47.3	56.6	+9.3
県西地域	48.7	53.8	+5.1

令和5年(2023年)4月20日公表

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	（1）景気の現状判断DI	3
	（2）景気の先行き判断DI	4
2	地域別の動向	5
	（1）景気の現状判断DI	5
	（2）景気の先行き判断DI	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問合せ先
茨城県統計課商工農林グループ TEL:029-301-2656
公式サイトのURL
[https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/
betsu/bukka/watch/index.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html)

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	38	36	36	36	183
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	17	19	19	19	93
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	273 人	91.0%
県北地域	60 人	51 人	85.0%
県央地域	60 人	56 人	93.3%
鹿行地域	60 人	54 人	90.0%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和5年3月調査の調査期間は、令和5年3月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなっ ている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
 $(1 \text{点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{点} \times 11.0\%) + (0 \text{点} \times 22.0\%) = 50.5$ となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50 ($=0.5 \text{点} \times 100\%$) となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは53.5となった。令和4年12月調査（以下「前回調査」という。）より4.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

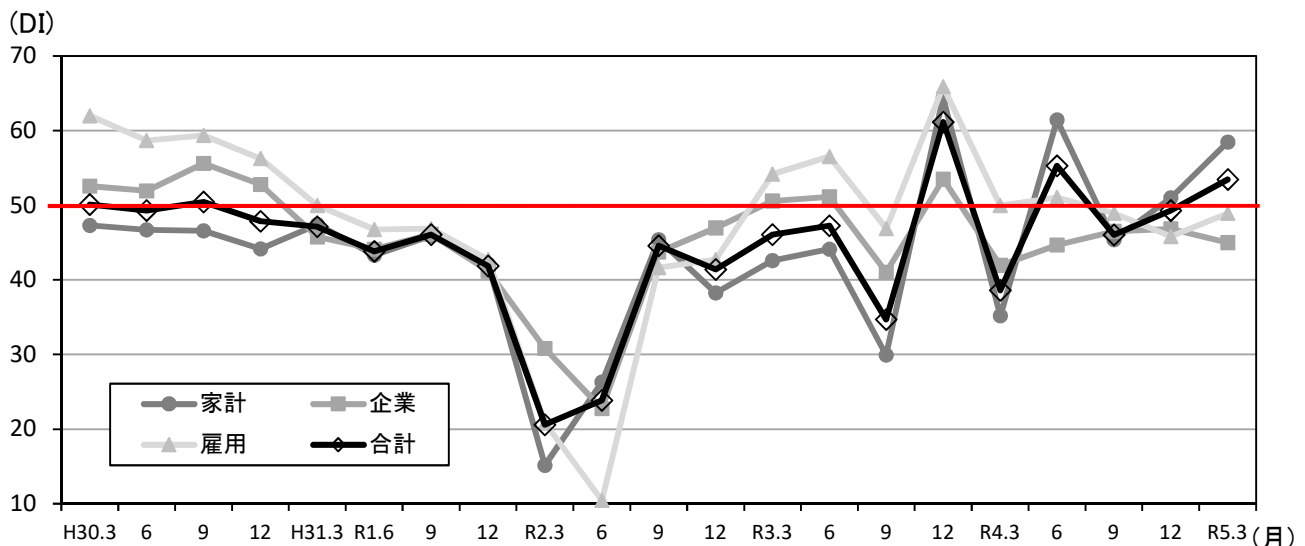
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		38.6	55.3	46.0	49.3	53.5
家計動向関連		35.2	61.5	45.4	51.0	58.5
小売関連		33.6	54.9	40.8	44.6	49.6
飲食関連		27.2	68.8	41.3	65.5	68.1
サービス関連		38.5	67.0	51.6	53.0	65.1
住宅関連		40.6	46.9	36.1	50.0	52.8
企業動向関連		42.0	44.7	46.5	46.8	45.0
農林水産業		34.4	34.4	37.5	40.6	28.1
製造業		41.7	43.1	46.3	48.4	46.0
非製造業		44.1	49.3	49.2	46.1	47.7
雇用関連		50.0	51.0	48.9	45.8	48.9

表1-2 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	3.6%	7.1%	3.2%	4.9%	8.1%
やや良くなっている	15.1%	35.7%	20.9%	24.9%	29.7%
変わらない	30.9%	33.2%	40.8%	39.3%	36.6%
やや悪くなっている	32.7%	19.4%	27.0%	24.2%	19.4%
悪くなっている	17.6%	4.6%	8.2%	6.7%	6.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは55.8となった。前回調査より10.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表1-3 景気の先行き判断DI

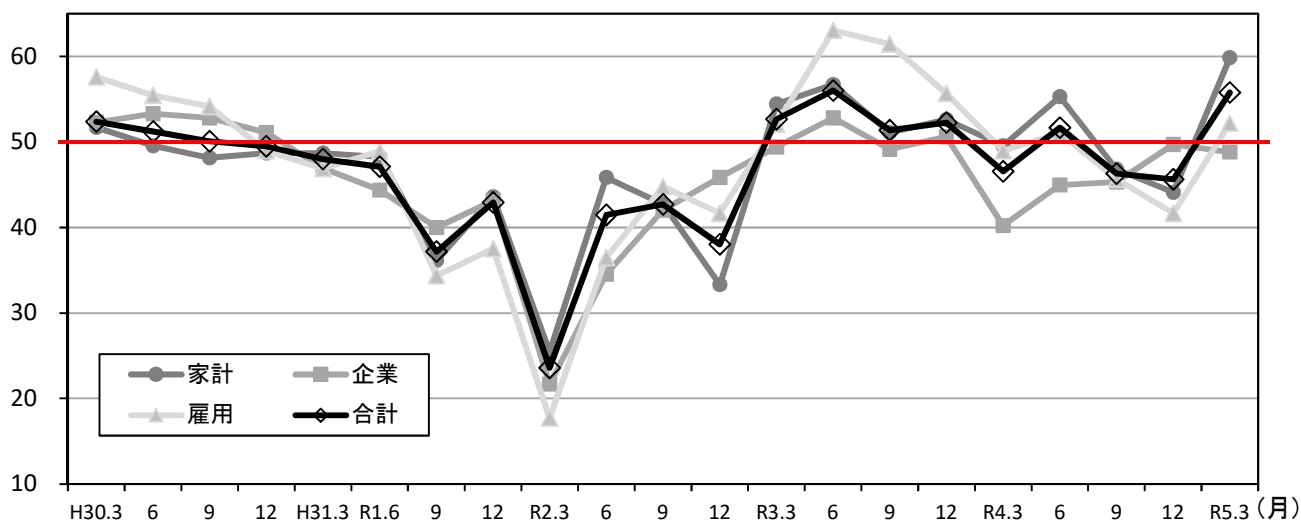
分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		46.6	51.7	46.3	45.6	55.8
家計動向関連		49.5	55.3	46.8	44.1	59.8
小売関連		48.4	47.0	40.4	41.4	54.9
飲食関連		46.6	71.3	52.5	47.6	66.7
サービス関連		52.1	61.0	51.3	45.9	63.7
住宅関連		43.8	31.3	44.4	41.7	52.8
企業動向関連		40.2	44.9	45.3	49.7	48.8
農林水産業		31.3	28.1	34.4	46.9	37.5
製造業		40.0	46.3	48.4	48.4	49.4
非製造業		42.6	47.1	43.5	52.3	50.8
雇用関連		49.0	51.0	45.7	41.7	52.2

表1-4 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	2.9%	5.3%	1.1%	1.8%	8.4%
やや良くなっている	25.9%	32.5%	23.0%	18.2%	32.6%
変わらない	36.3%	30.7%	43.6%	47.0%	38.1%
やや悪くなっている	24.5%	26.5%	24.5%	26.7%	15.4%
悪くなっている	10.4%	4.9%	7.8%	6.3%	5.5%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移

(DI)



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは44.6となった。前回調査より3.6ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	39.6	52.3	47.7	48.2	44.6
家計動向関連	41.1	55.3	49.2	52.9	47.6
企業動向関連	37.5	48.5	47.1	44.4	37.5
雇用関連	37.5	43.8	37.5	25.0	50.0

表2-2 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	1.9%	1.9%	3.7%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	17.0%	35.2%	20.4%	30.4%	21.6%
変わらない	32.1%	38.9%	44.4%	33.9%	45.1%
やや悪くなっている	35.8%	18.5%	25.9%	26.8%	23.5%
悪くなっている	13.2%	5.6%	5.6%	7.1%	9.8%

② 県央地域

景気の現状判断DIは59.4となった。前回調査より4.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	33.9	56.8	44.6	55.2	59.4
家計動向関連	27.7	63.2	44.6	55.3	64.6
企業動向関連	44.6	42.2	42.9	55.0	50.0
雇用関連	50.0	55.0	50.0	55.0	50.0

表2-4 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	5.4%	5.1%	3.6%	12.1%	5.4%
やや良くなっている	14.3%	42.4%	17.9%	25.9%	46.4%
変わらない	16.1%	30.5%	41.1%	36.2%	30.4%
やや悪くなっている	39.3%	18.6%	28.6%	22.4%	16.1%
悪くなっている	25.0%	3.4%	8.9%	3.4%	1.8%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは51.4となった。前回調査より1.8ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		41.5	55.7	45.3	49.6	51.4
	家計動向関連	36.0	61.4	41.7	50.7	50.8
	企業動向関連	47.1	44.7	50.0	48.6	51.5
	雇用関連	60.0	60.0	56.3	45.0	56.3

表2-6 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	5.4%	7.0%	1.7%	3.5%	7.4%
やや良くなっている	16.1%	33.3%	22.4%	21.1%	27.8%
変わらない	26.8%	36.8%	36.2%	49.1%	35.2%
やや悪くなっている	42.9%	21.1%	34.5%	22.8%	22.2%
悪くなっている	8.9%	1.8%	5.2%	3.5%	7.4%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは51.4となった。前回調査より4.1ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		39.3	59.4	46.9	47.3	51.4
	家計動向関連	38.3	66.7	47.0	49.3	62.5
	企業動向関連	39.5	50.0	46.1	45.6	38.9
	雇用関連	45.0	45.0	50.0	40.0	30.0

表2-8 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	3.6%	16.1%	5.3%	7.1%	17.0%
やや良くなっている	14.3%	28.6%	19.3%	19.6%	13.2%
変わらない	37.5%	33.9%	40.4%	35.7%	37.7%
やや悪くなっている	25.0%	19.6%	28.1%	30.4%	22.6%
悪くなっている	19.6%	1.8%	7.0%	7.1%	9.4%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは59.3となった。前回調査より13.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

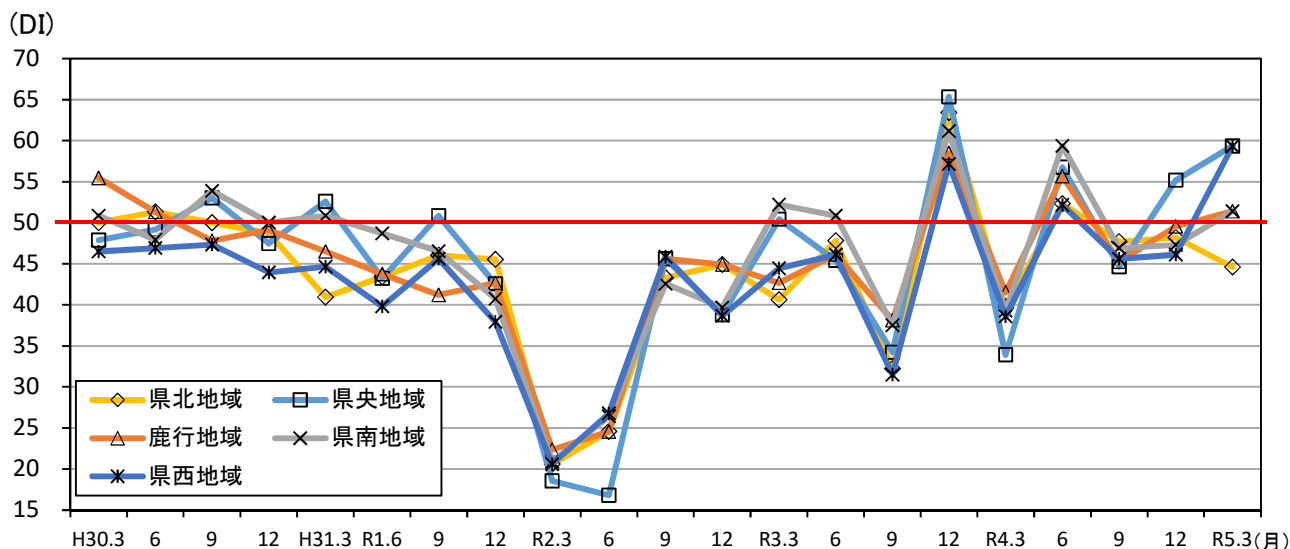
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		38.6	52.2	45.6	46.1	59.3
	家計動向関連	34.1	60.6	44.9	46.3	65.7
	企業動向関連	42.1	38.2	45.8	42.1	47.4
	雇用関連	55.0	50.0	50.0	60.0	60.0

表2-10 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	1.8%	5.3%	1.8%	0.0%	10.2%
やや良くなっている	14.0%	38.6%	24.6%	27.6%	37.3%
変わらない	42.1%	26.3%	42.1%	41.4%	35.6%
やや悪くなっている	21.1%	19.3%	17.5%	19.0%	13.6%
悪くなっている	21.1%	10.5%	14.0%	12.1%	3.4%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月	R5.3月
県全体	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2	38.6	55.3	46.0	49.3	53.5
県北	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4	39.6	52.3	47.7	48.2	44.6
県中央	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4	33.9	56.8	44.6	55.2	59.4
鹿行	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5	55.7	45.3	49.6	51.4
県南	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3	59.4	46.9	47.3	51.4
県西	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1	38.6	52.2	45.6	46.1	59.3
全国	50.1 51.7	49.3 48.2	47.7 47.3	46.9 48.2	45.1 46.7	44.3 43.3	45.4 45.7	39.7 40.7	14.1 15.9	38.6 38.0	48.2 48.7	36.0 36.5	47.8 49.5	45.8 45.4	42.7 43.3	58.3 58.6	47.1 48.9	52.1 51.8	48.9 49.6	48.7 49.0	53.3(季節調整値) 55.2(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは53.9となった。前回調査より13.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	43.9	50.5	38.9	40.2	53.9
家計動向関連	46.0	51.5	38.6	42.6	56.5
企業動向関連	37.5	50.0	39.7	37.5	50.0
雇用関連	56.3	43.8	37.5	31.3	50.0

表2-12 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	3.9%
やや良くなっている	26.4%	33.3%	16.7%	19.6%	39.2%
変わらない	32.1%	20.4%	35.2%	37.5%	37.3%
やや悪くなっている	32.1%	31.5%	35.2%	26.8%	7.8%
悪くなっている	9.4%	7.4%	13.0%	16.1%	11.8%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは60.7となった。前回調査より17.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	49.1	58.5	51.8	43.5	60.7
家計動向関連	52.7	62.5	52.7	42.1	63.2
企業動向関連	42.9	50.0	50.0	55.4	53.3
雇用関連	40.0	55.0	50.0	30.0	65.0

表2-14 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	1.8%	5.1%	0.0%	0.0%	7.1%
やや良くなっている	28.6%	44.1%	33.9%	13.8%	42.9%
変わらない	46.4%	32.2%	41.1%	50.0%	37.5%
やや悪くなっている	10.7%	16.9%	23.2%	32.8%	10.7%
悪くなっている	12.5%	1.7%	1.8%	3.4%	1.8%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断DIは53.7となった。前回調査より5.5ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	49.1	50.9	45.3	48.2	53.7
家計動向関連	50.0	52.3	45.1	43.4	58.3
企業動向関連	44.1	44.7	45.8	59.7	45.6
雇用関連	60.0	65.0	43.8	40.0	50.0

表2-16 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	7.1%	1.8%	0.0%	1.8%	13.0%
やや良くなっている	26.8%	35.1%	19.0%	21.1%	16.7%
変わらない	28.6%	29.8%	51.7%	49.1%	46.3%
やや悪くなっている	30.4%	31.6%	20.7%	24.6%	20.4%
悪くなっている	7.1%	1.8%	8.6%	3.5%	3.7%

④ 県南地域

景気の先行き判断DIは56.6となった。前回調査より9.3ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	47.3	53.6	47.8	47.3	56.6
家計動向関連	52.3	61.4	49.2	44.9	63.3
企業動向関連	39.5	44.4	46.1	52.9	50.0
雇用関連	45.0	35.0	45.0	45.0	40.0

表2-18 回答構成比

	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	5.4%	12.5%	1.8%	5.4%	13.2%
やや良くなっている	25.0%	21.4%	21.1%	10.7%	32.1%
変わらない	30.4%	37.5%	50.9%	55.4%	30.2%
やや悪くなっている	32.1%	25.0%	19.3%	25.0%	17.0%
悪くなっている	7.1%	3.6%	7.0%	3.6%	7.5%

⑤ 県西地域

景気の先行き判断DIは53.8となった。前回調査より5.1ポイント上昇して、横ばいを表す50を7期ぶりに上回った。

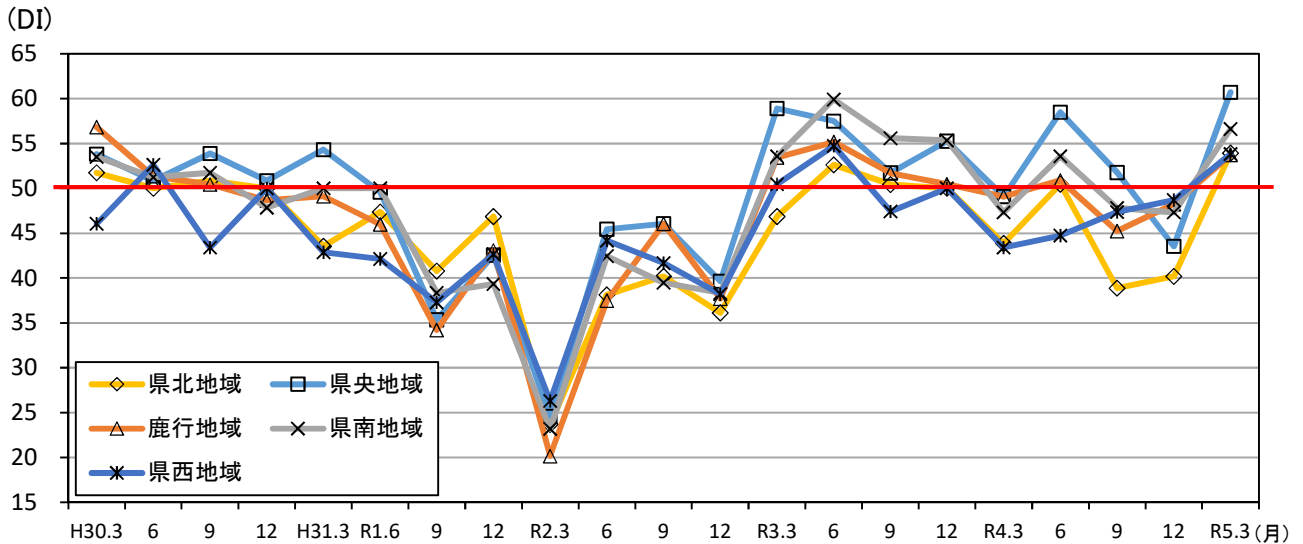
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		43.4	44.7	47.4	48.7	53.8
家計動向関連		46.2	47.7	47.8	47.8	57.9
企業動向関連		38.2	36.8	45.8	47.4	46.1
雇用関連		45.0	55.0	50.0	60.0	55.0

表2-20 回答構成比

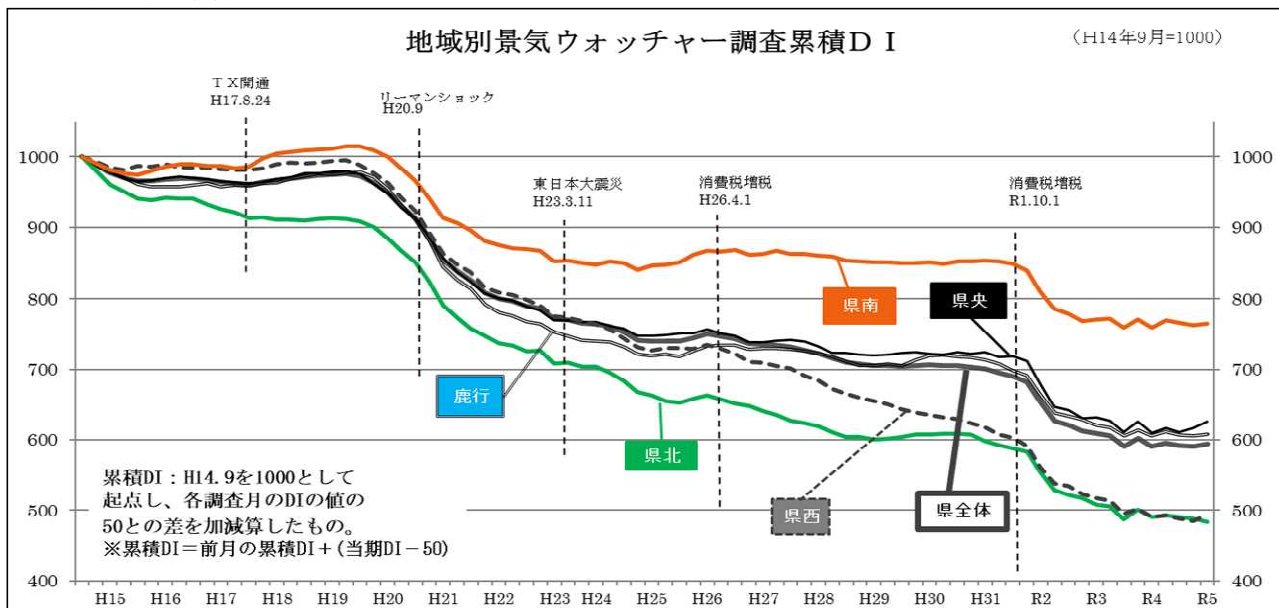
	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
良くなっている	0.0%	0.0%	3.5%	1.7%	5.1%
やや良くなっている	22.8%	28.1%	24.6%	25.9%	32.2%
変わらない	43.9%	33.3%	38.6%	43.1%	39.0%
やや悪くなっている	17.5%	28.1%	24.6%	24.1%	20.3%
悪くなっている	15.8%	10.5%	8.8%	5.2%	3.4%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9月	R4.12月	R5.3月
県全体	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2	46.6	51.7	46.3	45.6	55.8
県北	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0	43.9	50.5	38.9	40.2	53.9
県中央	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3	49.1	58.5	51.8	43.5	60.7
鹿行	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7	50.5	49.1	50.9	45.3	48.2	53.7
県南	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3	53.6	47.8	47.3	56.6
県西	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4	44.7	47.4	48.7	53.8
全国	50.2	50.4	51.2	47.6	48.1	45.7	36.9	45.1	18.8	44.2	47.2	36.7	48.7	51.9	56.6	50.1	48.4	48.4	49.2	46.8	54.1(季節調整値)
	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1	36.1	48.6	52.6	56.7	49.5	48.4	49.2	49.3	46.3	54.1(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業 (食料品)	3か月前に比べ、コロナ禍以前に準じたイベントなどが行われるようになったことに加え、高齢者・企業の人流が戻ってきた感じが強くなったことにより、やや良くなっていると判断した。マイナス要素としては、適正な価格変更やコロナ禍での事業のブラッシュアップを行わなかった事業者は利益率の低下が懸念される。
		小売業 (弁当・惣菜店)	徐々にではあるが、団体の注文が入るようになってきた。脱コロナとなり、日常を取り戻しつつあると感じるため、やや良くなっていると判断した。
		スナック	旅行する人が増えている事、飲食店が賑わっている事、物産展等が大盛況な事を見ると、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	新型コロナウイルス関連が落ち着き、春休みやお彼岸などで予約の件数が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスが特別なことではない雰囲気になっており、外食や旅行に出かけることへの敷居が低くなったため利用客が増えているので、やや良くなっていると判断した。
		旅行会社	いろんな方々の情報により、今後が期待できる方向に進んでいるため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー会社	前年度の同時期と比べて伸びているため、やや良くなっていると判断した。
	タクシー運転手	人混みが増えた。駅、バス、タクシーの乗降客、観光客も増えたため、やや良くなっていると判断した。	
企業	金融業	新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきており、5類感染症へ引き下げると発表されてから、通常の経済活動に戻つつあるため、やや良くなっていると判断した。	
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスの各種規制が徐々に緩和されつつあり、求職者も安心して活動出来る状況になったのか、こここのところ来所が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	値上げが相次ぎ、消費者の買い控えは加速している。1品単価は増加したが、客単価や客数は変わらず減少傾向のため、変わらないと判断した。
		衣料品販売店	当店はシニア向けの衣料品を扱っている。まだまだ外出に消極的なので変わらないと判断した。
		小売業 (酒類)	期待していたが良くならない。得意先の飲食店の景気が以前のように戻っていないため、変わらないと判断した。
		小売業 (時計)	3か月前という12月なので、まあまあの上昇だった。新型コロナウイルスの感染者数低下の状況ではあるが、いまだ動きは悪いと思われるため、変わらないと判断した。
		日本料理店	3月中旬点での売上げが、令和4年12月とほぼ同じである。新型コロナウイルスはかなり落ち着いてきたが、引き続き物価高が続いているため、変わらないと判断した。
		タクシー運転手	客の様子から判断すると、仕事はリモートが多くなり、飲食店に出る機会がかなり減っている印象。また、物価や光熱費の料金値上げなどもあり、景気回復は見込めない状況のため、変わらないと判断した。

変わらない	家計	ドライブイン	客数は103%に対して売上げ、客単価が93.3%、財布の紐が固いので、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	特に変化を感じないため、変わらないと判断した。
		写真店	予約件数の状況が、店舗にもよるが昨年並みのところが増えてきたため、変わらないと判断した。
		設計事務所	仕事の問合せが相変わらずないため、変わらないと判断した。
	企業	製造業（化学工業）	受注量に変化がないため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置、建設機械関連からの受注残に対応しているため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	変わりがない。
		製造業（精密機器）	受注状況は、同様に良い状況が続いているため、変わらないと判断した。
		製造業（精密機器）	受注等に大きな変化が見られないため、変わらないと判断した。
		製造業（その他）	新型コロナウイルスの規制緩和・縮小化により人の動きが多くなりつつある。販売量も増えつつあり、大きなプラス要因。しかし、材料や光熱水といった主要経費の値上げが止まず、全てを顧客に転嫁できていないことは、大きなマイナス要因。現在はプラスとマイナスが相殺されている状況のため、変わらないと判断した。
		建設業	目立った変化はないので、変わらないと判断した。
		建設業	去年の建築業界の着工棟数減少の影響は受けたものの、不動産売買の動きがあったため、変わらないと判断した。
	非製造業（その他）	受注量が増大しているわけではないため、変わらないと判断した。ただし、受注できるリソース（質・量ともに）があれば、受注増加は見込める状況。	
雇用	公共職業安定所	求人倍率が横ばいのため、変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	取引先の企業の会話などから、変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	給与が大きく変わらない中で、価格高騰による買控えや光熱費の高騰などで、出来るだけ金を使わないように過ごしている方が増えた印象のため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（食料品）	光熱費などの高騰で商品が値上されているため、やや悪くなっていると判断した。
		自動車販売店	更なる光熱費の高騰、食料品の値上げなどにより生活費が圧迫されているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（水産物）	客数が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		レストラン	著しく値上商品が増え、買物点数が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	物価の高騰が目立ち、各種店舗での買控えをよく目にするため、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	物価高で、生活必需品において値下げ要因の情報がないため、やや悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	12月頃はいろいろな物の値上げ前で、今後値上げが始まるということから、値上げ前に購入しようと購買意欲が高かったように思う。今は物だけでなく電気や燃料等も軒並み値上げされており、節約傾向が高まっているように感じるため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	林業関係者	物価高、動力光熱費の高騰による影響は、身近に感じ実感しているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	資材の値段が上がり始め、購入費用が増えてきているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	3か月前に比べ、生産数、売上げとも85%の出来となっているため、やや悪くなっていると判断した。
	雇用	求人広告	電気代や物価の高騰が、新型コロナウイルスのダメージに上乗せされているため、やや悪くなっていると判断した。
	悪	家計	スーパー
水産業関係者			各価格高騰の波を強く感じるため、悪くなっていると判断した。
企業		製造業（食料品）	食品の値上げ（資材、エネルギー費、物流費）が相次ぎ消費がマイナスのため、悪くなっていると判断した。
		不動産業	電気代の高騰や物価高の影響で、例年と比べると客の動きが悪いため、悪くなっていると判断した。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	旅行代理店	新型コロナウイルスが落ち着き、平常を取り戻しつつある。人の動きが活発になったため、良くなっていると判断した。
		スーパー銭湯	客数、客単価ともに上昇傾向。地元客に加えて県外からの利用者も増えているため、良くなっていると判断した。
	企業	製造業(精密機械器具)	難入電子部品の入荷に振り回されたが、3月は弊社年度末でもあり、それに合わせた入荷手配努力の結果、まずまずの電子部品入荷もあり、仕掛品を順次出荷出来た事が功を奏したため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスが一段落し、中止や延期となっていたイベント等も復活するようになり、それに伴う購買需要も少しずつではあるが回復してきていると感じるので、やや良くなっていると判断した。
		商店街代表者	取扱商品に対する問合せが多少増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業	新型コロナウイルスの制限緩和や大手各社の賃上げの話題を背景に、週末の人の動きが活発になってきているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	購買意欲は上がっている傾向。良い商品、こだわりの商品が動いてきている。ただ、日常商品(醤油、味噌、マヨネーズ等)は自分の好きな商品でも他店と価格比較して買っていく。
		スーパー	新型コロナウイルスの感染者も減ってきており、外出する方が増えている印象がある。特にレストラン等の外食が増えていると思うため、やや良くなっていると判断した。ただ、原価高騰による、相次ぐ商品の値上げや水道光熱費の単価上昇により、必要以上に物を買わなくなっている。
		コンビニエンスストア	来店客が増えているので、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの状況緩和が更に進み、人出が増えていると感じられ、客数にも良い影響が出ているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業	売上げ自体はさほど伸びてはいないが、3か月前の前年比と比較すると伸び率が良くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	地域のまつりもあり、外出している人が増えた。来客も多くなったため、やや良くなっていると判断する。
		食堂	昨年対比の売上げの伸び、客の同行人数の増加により、やや良くなっていると判断した。
		割烹料理店	11月は少し回復してきたと思ったら、12月から2月までは新型コロナウイルスが増えた影響により、また落ち込んだ。しかし最近は新型コロナウイルスも減ってきているので、もち返しているように感じているため、やや良くなっていると判断した。新型コロナウイルスが、早く5類感染症に引き下げになってインフルエンザと同じようになり、このままの勢いが続いていくことを望みたい。
		割烹料理店	少人数の客の飲み会が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊、レストランの利用者は増えている。また、宴会の予約、利用は少し増えている状況であるので、やや良くなっていると判断した。大きく伸びるまでには至っていない。
		バス運転手	地域のまつりの開催とともに、駅のバス乗り場や市内飲食店頭では行列ができ、コロナ禍以前に見かけた光景が戻ってきたため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスも落ち着き、2月の前年比と3か月前(11月)の前年比では、2月の前年比の伸び率が良くなっているため、景気はやや良くなっていると判断する。
		タクシー会社	駅からの乗車状況や来电回数伸びがあり、3か月前に対して178.5%の売上げ増となっている。2019年同月比では106.9%の伸びを示しており、人流動向等が活発化していると判断する。また、高齢者の来电回数も増えており、外出をする方々が多くなってきていると思われるので、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	新型コロナウイルスの感染者数が減少、マスク装着の緩和等で観光客や一般客の来客が増えたため、やや良くなっていると判断した。ただ、物価が上がっており、買控えもおきている。今は買控えよりも、出歩く客が多いので来客増、売上げ増になっている。
観光名所	3か月前と比較して来場者の増加に伴い、客単価も増加しているため、やや良くなっていると判断した。		

やや良くなっている	家計	レジャー施設	新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きを取り戻し、緩和策が打ち出され、全国旅行支援もあり、回復傾向が感じられるため、やや良くなっていると判断した。
		ボウリング場	前年比が118%と上がっているため、やや良くなっていると判断した。
		理・美容店	新型コロナウイルスも少しずつ落ち着き、客の来店サイクルも戻って来つつあるため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響が少しずつ収まりつつあるのではないかと感じるため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	受注が増えたため、やや良くなっていると判断した。
		運輸業	徐々に顧客製品の出荷台数も増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
雇用	人材派遣業	受注が以前より伸びてきているため、やや良くなっていると判断した。	
	公共職業安定所	有効求人数が前年同月比2か月連続でプラスとなっている。特に最新の指標（令和5年2月分）では前年同月比+10.8%のため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	酒・各種商品小売業	1年、2年前と比較するとかなり良くなっていると思う。3か月前も同じようによかったと思うので、変わらないと判断した。
		楽器販売	イベントや観光が復活し、マスクも取れそうな状況ではあるが、現状、自分を取り巻く環境はあまり変化がないため、変わらないと判断した。
		自動車販売店	比較的富裕層の客が多く、消費や話を聞く中では、あまり変化はない。
		観光型ホテル	全国旅行支援があり、例年並みの客が来ているため、変わらないと判断した。
		旅行会社	バスが満車で稼働している日が少ないため、変わらないと判断する。
		タクシー会社	売上げ、営業回数ともに大きな変動があったとは認められないため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	物価高、光熱費高騰によるコストの圧迫はあるものの、新型コロナウイルス感染リスクの低いレジャーとしてゴルフが認知されてきており、若年層を含めプレーヤーが増加しているため、変わらないと判断した。
		写真店	特に変化はない。
		設計事務所	建築工事予算が高騰している。また、工事工程も長くなっているため、これでは設備投資も難しいと感じるため、3か月前と変わらないと判断した。
	住宅販売会社	建築及び不動産関係では、資材価格の高騰により高値止まりになり建築コストが上昇した。そのため、トータル予算が上がり、月付の返済額が厳しくなり借り入れできないケースがあり、3か月前とほとんど変わらない状況である。	
	企業	製造業（食料品）	コロナ禍からの大きな回復はまだ感じられないため、変わらないと判断した。
		製造業（一般機械器具）	景気はあまり変わらなくて低空飛行が続いている。半導体不足の影響が続いている自動車関連の仕事が、今まで以上に出なくなってしまったため、変わらないと判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	円安基調が少し落ち着き、売上げも前回調査同様に回復傾向にある。一方で材料市況の高騰、エネルギーコスト増、半導体の供給懸念の中、値上げを受け入れたものの、顧客への売価転嫁が時期ずれ等もあり、収支を悪化させているため、変わらないと判断した。また、半導体物量確保に向けたロングタームでの注文書発行等により、部材の棚卸資産の急増等で収益を悪化している状況にある。
		金融業	物価上昇の波が収まらず、電気ガス等の光熱費の負担増加や心理的影響も重なり、景気回復は進んでいないと思われる。市内中心街においても飲食関連業種を中心に人流は停滞したまま厳しい状況が続いており、コロナ禍以降、消費意欲は低迷が続いていると感じるため、変わらないと判断した。
情報通信業（情報サービス業）		特に変わりが無い。	
雇用	求人開拓員	茨城県全体の求人数及び当所の利用者数に有意な変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	物価の値上がりが続いており、買物に慎重になっているため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	売れ筋ギフトの低価格化が更に進んだため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	資材等の価格が上昇したことにより、供給が減少したため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（精密機器）	仕事がないという会社が出てきているため、やや悪くなっていると判断した。
		建設業	受注が低迷し、設備投資等の需要が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	あらゆる商品が値上げ基調であるため、貨物の動きが低調で、滞留してしまっているように感じるため、やや悪くなっていると判断した。
	不動産業	あらゆる面での物価高が影響し、個人消費は鈍く、特に高額な不動産は控えめな動き。収入面でのベースアップは、これからの対応となっているため、まだ全く効果は現れていないため、やや悪くなっていると判断した。	
	雇用	求人広告	広告出稿量は落ちてるため、やや悪くなっていると判断した。
学校就業関係者		前回調査以降も、日用品等の値上げ高騰が継続しているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	レジャー施設	3か月前と比較し、給油販売の売上げが半減したため、悪くなっていると判断した。

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルス蔓延が落ち着き、マスク着用も任意となる中で、週末に出かける人が増加傾向にあるため、良くなっていると判断した。
		道の駅	売上げの推移により、良くなっていると判断する。
		クリーニング店	人が多い。周りの人に聞いても多いと言っているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	スーパー	各店、各カテゴリーで客数は伸びており、価格を据え置いた惣菜では客の支持を得ているため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの規制緩和により、人の流れが活発になって来たため、やや良くなっていると判断した。
		農産物直売所	3か月前は名産品は数少なかったが、現在は苺や干し芋、さつまいもなど多く店頭に並んでおり、それを目当ての来店客が多いため、やや良くなっていると判断した。一番の目玉であるメロンの販売時期と比較すると、売上げの差がある。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの感染者が減少し、マスクの着用も基本的には不要になり人出が増えているので、物が3か月前より売れているため、やや良くなっていると判断した。
		洋食食堂	テレビの影響もあると思うが、テイクアウトを中心に売上げが前年比を上回っているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	予約者数が増えてきたため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	宿泊業なので、全国旅行支援の影響もあり、例年閑散期とされる2月～3月に連日満室に近い客があり、繁忙期以外で旅行に出かける方が多いという事は、景気が良くなっている証拠なのだと思うので、やや良くなっていると判断した。ただし、宴会等の予約は徐々に回復傾向にあるが、やはりまだ以前のようには戻り切れていないのかと感じた。
		旅行代理店	新型コロナウイルスが落ち着いてきて客足が戻ってきたため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	全国旅行支援の影響で宿泊客が増えたため、やや良くなっていると判断した。
	レジャー施設	エネルギー価格の上昇、物価の上昇、鳥インフルエンザ感染拡大等はあるものの、人の動きが活発になり消費が大きくなっている。当施設でも利用者、売上げとも前年を上回り、ひと月ひと月の数字は伸びてきているため、やや良くなっていると判断した。	
	住宅販売会社	新築住宅問合せが出てきたため、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業（一般機械器具）	見積り引き合いが増加していると感じるため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（ゴム製品）	客先からのオーダーにより、やや良くなっていると判断した。
製造業（金属製品）		発注量や物流が少し良くなっているため、やや良くなっていると判断した。	
雇用	民間職業紹介業	人材紹介依頼が順調に増えているため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	客数に大きな変化がないため、変わらないと判断した。
		家電販売店	新型コロナウイルスの状況が落ち着いてきてはいるが、買物に対する感覚は変化しておらず、月別に見ても、増減を繰り返しているため、変わらないと判断した。
		小売業（薬品店）	受診抑制が続いているのか、コロナ禍前には戻っていない。慢性の患者は今までどおり通院していると思うが、軽い症状の患者の新患は売薬等で済ませているのか、新患があまり増えてこないため、変わらないと判断した。
		小売業（食品）	コロナ対策が緩和されて少し良くなったが、それほど変わらないため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	変化を感じ取れない。
		ゴルフ場	物価上昇の影響もあり、プレー代以外の支出を控え、なるべく最小限に抑えようとする客も目立つため、変わらないと判断した。
	住宅販売会社	変わりがない。	
	企業	製造業（食料品）	新型コロナウイルスは、一応、収束の方向にいくようであるが、円安とロシア・ウクライナ戦争による。材料高、経費高で経営を圧迫している上、消費者は物価高により可処分所得を減らしているため、変わらないと判断した。
		製造業（鉄鋼業）	特に大きく変化が起こるような兆候は見られないため、変わらないと判断した。

変わらない	企業	運輸業（道路貨物運送業）	燃料高騰が続いているため、変わらないと判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	直近3か月の前年対比としては、横ばい、むしろやや下降気味といえるため、変わらないと判断した。
		金融業	新型コロナウイルス及びロシア・ウクライナ情勢の影響により原材料価格が高止まりする中、販売価格への価格転嫁が出来ず、企業での負担が増加し、資金繰りを圧迫しているため、変わらないと判断した。
		保険業	自動車保険は伸びないが、生命保険で少し良くなっているため、変わらないと判断した。
		サービス業	新型コロナウイルスは終息方向に向かいつつあるものの、世情に目立った動きはなく、景気の浮揚感も感じられない。また、例年であれば年度末を見越して四半期に計画されている比較的大型の商談引合が少なく動きが鈍いように感じるため、変わらないと判断した。
		サービス業（会計事務所）	新型コロナウイルスも落ち着き、外出や消費意欲も出てきてはいるが、物の値上がりが続いており、未だ景気上昇とはなっていないため、変わらないと判断した。
雇用	公共職業安定所	求人、求職の状況は3か月前と比較して、あまり変化していないことから、特に景気の状態にも変化は見られない。	
	学校就業関係者	物価や光熱水費の高騰が著しい。ただし、円安により一部企業は景気が良い様子であるため、変わらないと判断した。	
	求人開拓員	原材料費、燃料代の高騰、そして人手不足等、3か月前と変化が見られない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、原油等の高騰により、生活に関するものの値段が高くなってきており、家計（企業）における支出の増加によって、徐々にこれまでの日常生活に影響が出始めてきているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	物価の価格上昇で平均単価が上がり、客単価も上がっているが、買上げ点数は減っているため、やや悪くなっていると判断した。現状は、買上げ点数の減少分を、客単価で補っている。
		衣料品販売店	昨年12月は気温低下の要因もあり防寒衣料が動いたが、1月、2月は売上げが落ち込んだため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	客数、売上高、前年比ともに下降傾向であるため、やや悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	年明けから今月にかけて、今までにないくらい売上げが下がったため、やや悪くなっていると判断した。
		運転代行	売上げの伸び率が低いので、景気はやや悪くなっていると判断した。新型コロナウイルスの影響もまだ続いていると思う。
企業	農業関係者	新型コロナウイルスが落ち着いてきており、消費者の購買意欲が昨年よりは若干高まってきているように思われる。しかし、原材料の高騰により生産資材は前年度より割高になっており、まだまだ生産コストの増加を農産物の販売で吸収しきれていない状況のため、前回より景気はやや悪くなっていると判断した。	
	製造業（その他）	原材料が上がっている。客は安いもの、値上げのないもの、または値上げの少ないものを探す動きが非常に活発になっているため、やや悪くなっていると判断した。	
	建設業	周知のとおり、新型コロナウイルス、ウクライナ、インフルエンザ等の影響が電気、ガスを始め原材料等すべての品を価格上昇させ、景気を悪化させているため、やや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	3か月前とあまり変わらないが、建設資材等が再々値上げになりどうしようもないため、やや悪くなっていると判断した。居酒屋は、日によっては少し客が多くなったようだ。	
悪くなっている	家計	農産物直売所	今年に入ってから、明らかに客数、売上げが減少している。店前方道路の交通量も明らかに減っている。昨年からの商品価格の値上げの影響によるものと思われるため、悪くなっていると判断した。
		小売業	色々なものが値上がりしている中で、個人も法人も景気は悪いのではないかとと思うので、悪くなっていると判断した。
		小売業（書店）	インフレで食料品の値段が上がっているため、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	いろいろな品物が値上がりしている中、現状では景気回復どころではない。これもウクライナとロシアの戦争が原因と思うが、戦争が終わらない限り、景気回復はないと思うので、悪くなっていると判断した。各家庭がだんだんと苦しくなるし、財布の紐も固くなる一方。早く戦争を終息しなければ、回復はない。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業	行動制限のない中で、3年ぶりに年末年始行事やイベントが復活し、施設は12月から連続して売上げ、客数ともに前年を上回る。特に春の実需を迎えた2月は、「普通の春ニーズ」が盛り上がりどの業種も高伸長。グループでの宴会などの飲食も伸び、施設全体売上げ・客数ともに前年比2ケタ以上伸長しているため、良くなっていると判断した。原油高や円安等による値上げにより買上げ単価は上昇しているが、物価高により消費を控える動きは見受けられない。
		日本料理店	前年比を比べると、今月は良くなっているため、景気は良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	3か月前より、宿泊・宴会、レストランのオンハンド状況が非常に良くなってきている。また、婚礼の新規来館が増加しているため、良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	例年に比べ、研修団体の予約があり、まとまった収入になる。短期、長期（会場、食事、宿泊のセット）とあるが、客単価も上がる。昨年までは、問合せは多かったが、今年は正式な予約に繋がり、件数も多いため、良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	全てにおいて人の活動が活発になっている。当社の売上げも確実に伸びている。
		タクシー会社	タクシーでの遠出、空港までの問合せや予約が増えてきているため、良くなっていると判断した。
		サービスエリア	店舗に立ち寄る客が明らかに増加している。また、観光バスもコロナ禍前ほどではないが、平日休日を問わず駐車しており、旅行支援クーポンの問い合わせも頻繁に寄せられるため、良くなっていると判断した。
		レジャー施設 理・美容店	競輪業界全体として売上げが上昇しているため、良くなっていると判断した。 市内在住の外国人が増えてきたため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	政府による新型コロナウイルスの対応が緩和される報道もあつてか、外出が増えてきていることもあり、それに比例して客数が増加し、売上げも増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	物価が上昇し、買上点数が減少傾向にはあるが、昨年と比較して客数が増えており、売上げトータルではプラスになっているため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	一日当たりの乗客数が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスについては、だいぶ落ち着いてきており、来場客も増えつつある。予約も増えているため、やや良くなっていると判断した。
		ボウリング場	政府がマスク着用の緩和を発表した辺りから、客の動きが良くなっていると感ずるため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	企業としては原材料費の価格が上昇しており、厳しい状況にあるが、徐々に価格の転嫁が進んでいると感じているため、やや良くなっていると判断した。おそらく以前に比べて、値上げに対する客の気持ちの抵抗が薄まってきているのではないかと捉えている。ただ、手取りの給与にくらべて物価の上昇が急激であり、今後は買控えが進むのではないかと考えている。
雇用	学校就業関係者	業務の関係から、製造業の求人票をよく目にするが、賞与が例年よりも高くなっている企業が多く、景気がやや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	単価アップも点数減で売上げはさほど上がっていないため、変わらないと判断した。
		スーパー	値上げにより単価が上がったため、売上高は上がっているが、客数は変わっていないし、買上点数も減っているため、変わらないと判断した。
		小売業（生花店）	例年、季節需要が増える時期だが、需要の増減は変化が感じられないため、変わらないと判断した。仕入単価が上昇していることで、販売価格の圧縮が難しく、そのために買控え発生が心配である。
		衣料品販売店	ほとんど変わらない。ただ、このまま新型コロナウイルス感染者が減れば、外に出たくてイライラしている国民は、外に出る。そうすれば少しは景気が良くなると思う。
		小売業（米穀）	人の動きは確実に増えているが、物価高の影響は大きく財布の紐は固く、消費には繋がっていないように思うので、変わらないと判断した。
		和食食堂	団体客の動きがないため、変わらないと判断した。
		都市型ホテル	3か月前から宿泊客は多くなり、現在もその状態を維持出来ている状態のため、変わらないと判断した。社会全体が動き出し、その波に乗っていると見える。
		タクシー運転手	客ひとりひとりの売上げの増減が変わらないため、変わらないと判断した。
		テーマパーク職員	季節要因を除いて来場者数に著しい変化は見られないため、変わらないと判断した。
		設計事務所	物価の値上がりで、高額な住宅は売れなくなったため、変わらないと判断した。

変わらない	企業	農業関係者	3月期（初旬まで）の来客数・客単価を前年12月期と比較すると、両者とも若干の減少傾向。これは毎年の傾向であるが、前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（飲料）	市場の低迷がなかなか解消しないことなどから、売上げがすぐ良くなる傾向が見られないため、変わっていないと思う。
		製造業（一般機械器具）	特に変化はなかった。
		建設業	昨年来より、新たな設備投資の話もなく、受注においても厳しいものが残っているため、変わらないと判断した。
		不動産業	集客、反響人数が変わらないので、変わらないと判断した。
		建設業	品物の単価が上昇し入荷遅れもあったが、前から比べると、少しずつ入荷するようになった。入荷予定が未定の物もあるが、景気は変わらないと判断した。工場や機械の増設、LED照明に取り替える等、客からの工事受注が多くなったと思う。
		運輸業（倉庫業）	貨物の動きがそれほどでもないため、変わらないと判断した。
雇用	公共職業安定所	金融業	新型コロナウイルスの影響は少しずつ減少し始めた感があるが、それ以上にエネルギーコスト、物価上昇の影響が強く表れており、全体的な景気は大きく変わっていないと感じられる。
		3か月前と比較し求人数は減少傾向となっており、光熱費、原材料価格の高騰等により利益減少の声も聞かれる。一方でコロナ禍で求職活動を見合わせていた者が経済活動の正常化に伴い、転職を希望して来所するケースが増えているため、変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	商品の値上げが続き、価格に対しての客の反応で買上げ点数が低下しているため、やや悪くなっていると判断した。
		家電販売店	客数の減少、暖冬傾向もあり、冬物が下向きのため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	様々な外的要因による、特に食料品の値上げに歯止めがかからず、買上げ点数が著しく低下しているため、やや悪くなっていると判断した。現在は点単価上昇により、客単価はある程度維持されているため、落ち幅はなだらかなので「やや」としたが、いつまでも続かない不安がある。
		住宅販売会社	物価高の影響で、消費者の購買意欲が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
企業	農業関係者	物価の値上がり（各種メーカー、原料等の値上げによる価格転嫁）により消費意欲は弱くなっていると思われる。3か月前と比較した場合、買控えは、より進んでいるのではないかと感じるため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（食料品）	来店者数の増加に伴う、客単価の増加で売上げは増えている。業者からの注文数も減ってないので、売上げは一定数を保っている。但し燃料費・原材料費の値上がりが大きい。原材料費の値上がり分が、顧客に転嫁しきれていない。順次価格変更を行っているが、まだ不十分な状態。よって売上げはあるが、利益が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（食料品）	通常よりも客数が少ないため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（印刷・同関連業）	現在年度末の繁忙期ではあるが、役所等からの受注額が減少している。発注件数の大きな変化はないが、発注数量の減少、仕様の変更等で受注額が減っているため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	製造業においては原材料が高騰。原価高となり利益を圧迫しているため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（非鉄金属）	今年1月から、主力先の半導体不足による生産調整により減産状態が続いているため、やや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	物価が高騰しているのに、賃金は上がっていないため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	求人広告	様々なモノの値段が上がり、購買意欲の低下を感じるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	農産物直売所	売上げの前年比は悪くなっている。しかも、客数の前年比はより悪くなっているため、悪くなっていると判断した。
		理・美容店	物価が上がって給料が上がらないので、悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	提出見積り額で商談が決まらなくなったため、悪くなっていると判断した。
	雇用	民間職業紹介業	取引先の生産量減少のため、悪くなっていると判断した。
		求人開拓員	求人開拓の業務にて、客と話す話題が、光熱費・燃料代のびっくりするほどの請求額についてである。今後不安と考えて、節約の方法の話題で盛り上がるので、悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	レストラン	来店客数が増えてきている。新型コロナウイルスについても、社会的に和らいできているからだと思うので、良くなっていると判断した。
		食堂	人の動きがコロナ禍前と変わらなくなってきている。新型コロナウイルスに対する恐怖感が無くなっているように思えるため、良くなっていると判断した。
		和食レストラン	新型コロナウイルスの終息と、3月13日と5月8日からの政府の新型コロナウイルスに関する方針が明確になったことで、人の動きが出てきたため、良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスが減少しつつあるので、景気もだんだんと良くなってきたように思う。
		道の駅	客数とともに客単価が上昇しているため、良くなっていると判断した。
	企業	製造業（金属製品）	とても忙しく、総売上も上昇しているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	イベントを企画した。ユーザーの財布の紐が緩んだ感じがあり、クレジットカード利用も増えたため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスが落ち着いたのか、客数が伸びてきたため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	コロナ禍の今後の流れとして、マスク着用の判断や5類感染症への移行が予定される中、明らかに人の動きが活発となり、小売店においては客数増加の傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
		自動車販売店	車の増産により、商品が回り始めた感がある。まだまだ以前のようにないが、多少上向きかもしれないため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	値上げが叫ばれる中ではあるが、少しずつ『会合』というような人の集まり事が増えてきていると感じる。それに伴って、当然のことながら人も経済も動いていることを感じられるようになってきたため、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	今月13日からマスクの着用は個人の判断によるものとなり、人が動き出している。グループの食事会も少しずつ入ってきているため、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	土・日・祝日や、家族や少人数の来店客が増えてきた。マスクの制限や新型コロナウイルスの5類感染症への引き下げが明るい話題になり、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	全国旅行支援の効果で、個人旅行は増えているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	今までは一度予約が入っても当日までは確定しないことが多く、当日のキャンセルも当たり前のようにあった。新型コロナウイルスを理由に言われてしまうと何も言えず、了解する日々だったが、マスクの自由化に伴い、また陽気も後押ししてくれて、やっと団体の予約が入るようになった。また、新型コロナウイルスを理由にキャンセルされることも少なくなったため、やや良くなっていると判断した。やっと安心して予約を受付できるようになった。
		道の駅	段々と暖かくなり、新型コロナウイルスも少し収まり、外出する人が増えているためなのか、客足が増えているように思えるので、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	コロナ禍明けの兆しのようにも感じるが、新規の顧客が増えているように感じるため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	エネルギーコストの上昇に伴い、購買意欲はやや下がっているが、コロナ禍の緩和に伴い、行動力は上昇しているように感じる。また、エネルギーコストの上昇により、自宅に滞在しているより、外出する傾向が高くなっているような印象のため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスが落ち着いてきて、外出する人が増えてきており、当公園に限らず支出する機会が増えてきているように見受けられるので、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの日常化が進み、人が動いている機運が高まっている。それに伴い、購買の機会も増えていると思われるため、やや良くなっていると判断した。
		商店街代表者	個人事業主に限定されるが、決算確定申告指導において特に製造業の業績が上向きになっている。また、飲食業等の業績も緩やかではあるが、前期に比べ、売上げ増加傾向の事業者が多くみられるため、やや良くなっていると判断した。
クリーニング店	緩やかに入荷量が前年より増えている。季節変動の業種なので、1月2月は3か月前と比べると数字的には劣るが、前年対比でみた場合や動向で、やや良くなっていると判断した。		
設計事務所	計画が実行されてきているため、やや良くなっていると判断した。		

やや良くなっている	企業	製造業（窯業・土石製品）	想定以上に受注ができ、3月は忙しくありがたいのだが、同業他社や業態を同じくする会社は総じて、忙しくないとの声が多く、それが実情だと思う。なお、関係する売り先、仕入れ先、協力会社等は、比較的他社より、良いように見受けられるため、やや良くなっていると判断した。
		不動産業	賃料が上昇しても需要が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		サービス業（コンサルト業）	飲食店等は客足が戻ってきたような感じがするため、やや良くなっていると判断した。
雇用	人材派遣業	人材の依頼が増えたので、やや良くなっていると判断した。	
	求人広告	季節的な要因を除いても、昨年の受注単価が上がっており、若干ではあるが経済の回復傾向を感じるため、やや良くなっていると判断した。費用が発生することに關する抵抗感が少しだけ、下がっている気がした。	
変わらない	家計	商店街代表者	特別変化がない。
		スーパー	特に変わらない。
		衣料品販売店	学生用品に重点を置いているので、一般の来客は少ないため、変わらないと判断した。
		家電販売店	購入単価の低下は継続しており、店舗売上げも若干右肩下がりである。
		農産物直売所	色々なものの値上げが続き、客の買控えが散見されるため、変わらないと判断した。
		メガネ・時計販売店	特別変わったことがない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響と物価、電気代、ガス代高騰で収益が悪化している状況が続いているため、変わらないと判断した。
		旅行代理店	不況が続いており、生活苦が続いているため、変わらないと判断した。仕事もコロナ禍でほとんどない。
		タクシー運転手	売上げが変わらないため、変わらないと判断した。
	設計事務所	更なる値上がりの心配をしているが、今のところ変化はないため、変わらないと判断した。	
	企業	畜産業関係者	実際の営業状況からして特段変化はないので、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	3か月前の状況と変わらずに悪い。
		製造業（印刷・同関連業）	ウクライナでの戦争の影響で、インフレが進行している。原材料が高騰しているが、製品価格に反映できていないため、変わらないと判断した。
製造業（化学工業）		エレクトロニクス関連の需要が低調なまま推移しており、在庫調整局面が継続している状況のため、変わらないと判断した。	
製造業（窯業・土石製品）		受注は、例年通り年末年始の減少からの回復で、増加傾向にあるが例年並みであるため、変わらないと判断した。	
製造業（金属製品）		全体的な受注状況が横ばいのため、変わらないと判断した。	
建設業		仕事量は増加傾向だが、原材料の高騰もあり、変わらないと思う。	
金融業		新型コロナウイルスの影響は少なくなるも、電気代等の費用を価格に転嫁することが出来ず、全体として変わらない状況である。	
雇用	人材派遣業	昨年同時期から比べても求人依頼が少し減っている。昨年12月と比較しても季節繁忙を除き、全体的に生産や物量は同程度で推移している企業が多いため、変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	特段良くなる要因がないと思われるため、変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	理・美容店	生活必需品の物価高騰や、公共料金の値上げなどの影響だと思うが、財布の紐が固くなった感じがするため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	ウクライナ問題や円安等により、生産資材（保温資材や肥料）価格が高騰しているが、青果物においては、それらを考慮した販売価格となっていない。また、コロナ禍において、外国人技能実習生の受入人数が、ここ数年大きく減少しており、農家あたりの作付面積も減少が続いているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	電気やガスの高騰で利幅が薄くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	エネルギー価格の高騰、さらに材料や仕入れ部品の価格が値上がりしており、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（金属製品）	2月下旬頃から引き合い件数が減っている。また、受注してもロット数量が少なく、利幅が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	受注量減により、各職場で作業時間の短い勤務への変更が続いているため、やや悪くなっていると判断した。
		建設業	売上高の減少により、やや悪くなっていると判断した。
悪	家計	スーパー	客の節約志向が以前より高まっていると思う。また、安い商品を探しているように思うため、悪くなっていると判断した。
		製茶販売	皆、物価が上がるのに給料は変わらず、生活にも困っているため、悪くなっていると判断した。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	金融業	新型コロナウイルスの5類感染症移行により、これまで需要や供給を抑えてきた反動や内需の持ち直しもあり、経済活動の正常化が見込まれるため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	コロナ禍での外出規制など、3年ぶりに人流抑制がないので人の動きが活発化することが予想されるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスに対する緊張は拭えないものの、マスク使用の緩和により日常を取り戻しつつあるため、やや良くなっていると判断する。しかしながら、物価の上昇の動きは更に進みそうで、急激な人件費の上昇と併せて懸念材料ではある。
		衣料品販売店	外出に積極的になると思えるので、やや良くなっていると判断する。
		自動車販売店	新型コロナウイルス5類感染症へ引き下げ、マスク着用緩和などにより、消費購買意識も変わると予想されるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（時計）	少しずつ消費力は上がってくると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		スナック	賃金等が上がれば多少は消費が増えるのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	新型コロナウイルスが落ち着き、感染症の法的位置付けが5類に変更され、人の移動、会食、買物や娯楽、イベントなどの制限がなくなり、人の動きが活発になると思う。企業などの賃上げが増えて、消費に繋がるのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	今後マスク着用義務等がなくなることで、更に外出しやすくなり、旅行や会食の機運が高まることが予想されるため、やや良くなっていると判断する。
		旅行会社	将来的には、良い方向に行くと思うが以前のようになるのは難しいと思う。
		タクシー運転手	コロナ禍から普段に戻りつつある。会社関係のタクシー移動が戻りつつあるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスでの制限がなく、物価の価格にも慣れるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	弊社の事業はアウトドアで行われるので、冬は需要が減り春先から秋にかけて需要が伸びるため、そもそも1月から3月の期間に比べるとその他の期間は景気が良い。そのうえで、新型コロナウイルスに関する制約が軽減されてくるため、人の動きは活発になってくるのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。但し、物価高の影響が避けられないため、とても良くなるとは思えない。
		設計事務所	周辺の状況が現在よりも多少良くなるので、やや良くなっていると判断する。
		企業	製造業（電気機械器具）
製造業（電気機械器具）	生産計画では、増産傾向にあるため、やや良くなっていると判断する。		
製造業（精密機器）	受注状況は、同様の状況と考えている。現在まだ難入品があり、一部生産に影響を与えているが、徐々に解消に向かうと判断しているため、やや良くなっていると判断する。		
製造業（精密機器）	新型コロナウイルスが、落ち着いてきていることにより、飲食店、観光業等の動きが活性化することで、仕事の受注も安定すると思うので、やや良くなっていると判断する。		
製造業（その他）	まだまだ新型コロナウイルスの感染が続いているものの、国の規制緩和を受けて企業間の往来がますます活発化していくものと思われる。材料の高騰も徐々に解消されていくと思われ、業績も上向きになることが期待されるので、やや良くなっていると判断する。		
建設業	取引先との雑談の中では、個人消費においては活発になってきている様子が窺えるので期待も込めて、やや良くなっていると判断する。		
雇用	求人開拓員	期間内で新型コロナウイルスも5類感染症に移行するであろうし、物価高も賃上げによる改善が期待されそうだ。管内企業からの求人増も期待出来るため、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	商店街代表者	物価上昇に伴い景気が冷え込んでいるため、変わらないと判断する。
	企業	小売業（食料品）	相次ぐ値上げにより、適正な価格変更を行わなかった中小事業者の利益率の低下により、中小企業の賃上げの実現は芳しくないことが予想され、買控え現象が予想される。事業者においては、原料不足による影響が一段落しつつある影響が、一定期間の在庫過多に転じる可能性が高いことなどから、変わらないと判断する。

変わらない	企業	小売業（食料品）	物価の上昇次第では変わらないと判断する。
		小売業（酒類）	扱い商品の値上げが連続で、来店客数減少。悪い影響が目立つため、変わらないと判断する。
		観光型ホテル	物価高騰やエネルギー価格の高騰など、先行きが見えない中で景気が良くなるとは思えないため、変わらないと判断する。
		タクシー会社	現在はやや伸びているが、それほど伸びていないため、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスも落ち着き始めたが、まだ本格的に金を使って旅行等に出かけようとする人が、客の中にはほとんどいない状況だと思われるため、変わらないと判断する。
		ドライブイン	物価高、電力高騰で消費抑え気味のため、変わらないと判断する。
		レジャー施設	景気が良くなる要因が見あたらず、暫くは現況が続くと想定されるため、変わらないと判断する。
	写真店	世の中の値上げインフレ気運は変わらないが、少しばかり新型コロナウイルスが少し落ち着いてきて、以前の生活に戻りつつあるところから、大きな回復ではないが、少しは消費者需要も戻ってくるのではと感じている。	
	企業	製造業（化学工業）	景気改善に向けた大きな動きを感じられない。日銀の政策も現状維持であるし、原油価格や為替も変化が見られそうにないため、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	特に好転するような情報が得られていないため、変わらないと判断する。
製造業（電気機械器具）		液晶・半導体製造装置、建設機械関連からの受注残に対応している状況が当面続く見込みのため、変わらないと判断した。	
非製造業（その他）		受注作業の増加依頼がある。ただし、受注できるリソース（質・量ともに）がないので、変わらないと判断した。	
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの扱い方で変わる部分もあるかもしれないが、それ以上に原材料などの物価高騰が響くのではないかと思うので、変わらないと判断する。	
	学校就業関係者	取引先の企業の会話などから、変わらないと判断する。	
やや悪	家計	スーパー	食料品その他色々な物が値上げとなり、給料はなかなか上がらず、電気代も値上げになり、状況が更に悪くなると思うため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	4月以降も各社値上げが相次いでいるため、やや悪くなっていると判断する。加えて電気料金も4月から更に負担が大きくなる。一番の痛手は卵の値上げ。モノがないという状況が非常に厳しい。
		小売業（水産物）	景気後退の流れが不安。また、アメリカの銀行破綻や物価高騰による買い渋り等もあり、やや悪くなっていると判断する。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスが2類感染症から5類感染症への変更時期までにアメリカ、中国等から新型株が入ってくる可能性があるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	レストラン	4月に競合店がオープンするので、始めは客も流れていくであろう。どこまで売上げの減少を最小限に抑えられるか、客を取り戻す事が出来るか。しばらく対策が続くので、3か月先は悪くなっていると判断する。
		林業関係者	好転の兆しが見えない。人手不足も相まって先行きが厳しいため、悪くなっていると判断する。
	企業	水産業関係者	各価格高騰の波を強く感じる今後を見通して、悪くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	値上げはこれからが本番のため、悪くなっていると判断する。せめてエネルギー費が減少すれば消費マインドは回復の可能性はある。
		不動産業	電気代の高騰や物価高は続くと思われ、政府の経済対策等がない限り景気は好転しないと思うので、悪くなっていると判断する。

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	旅行代理店	このまま新型コロナウイルスが収まり、引き続き経済活動が活発になると思われるので、良くなっていると判断する。	
		スーパー銭湯	物価高などの影響が懸念されるが、新型コロナウイルスによる影響がなくなったことがまだ大きいと、良くなっていると判断する。	
	企業	建設業	今までの足踏み感が動き出すと見られるため、良くなっていると判断する。	
	雇用	公共職業安定所	最新の指標（令和5年2月分）で新規求人数が前年同月比+28.6%と大幅に増加したため、3か月先も良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルス対策の変化による精神的負担が解消されることによって、人通りが増し、購買意欲が復活するのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。	
		小売業	新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げとなり、ゴールデンウィークをきっかけに、更に消費が活発になると考えられるため、やや良くなっていると判断する。	
		コンビニエンスストア	茨城空港国際線が3月に再開し、さらなる人出増加に繋がっていくと考えているため、やや良くなっていると判断する。	
		小売業	このところ新型コロナウイルスの流行も落ち着いてきており、売上げに回復傾向が見られる。新型コロナウイルスが5類感染症に移行されると、行動制限が緩和されて人流がより回復してくると思われるため、やや良くなっていると判断する。	
		楽器販売	現実にマスクが取れるようになって、それが日常になれば、合唱や吹奏楽などが活気を取り戻せるかと思う。それを期待して、やや良くなっていると判断する。	
		日本料理店	インバウンドも更に増えて少しずつ戻ってくると思うので、やや良くなっていると判断する。	
		食堂	新型コロナウイルスから3年が経ち、制限も少なくなり、県外への外出、外食の増加も見込めると思うため、やや良くなっていると判断する。	
		割烹料理店	最近のように新型コロナウイルスの減少が続けば、景気は良くなっていると信じている。	
		割烹料理店	新型コロナウイルス対策が緩和されるため、やや良くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	現在の予約状況より、少しずつ伸びそうな感じが見て取れる。客からもそろそろ宴会等の会合を予定しているとの話も聞こえるため、やや良くなっていると判断する。	
		バス運転手	東京地区では既にインバウンド旅行者が戻ってきているとの話を聞くが、茨城空港発着の国際線の運航再開により、県内においても一定程度その恩恵を受けられるのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。	
		タクシー運転手	このところ客数は上昇傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや良くなっていると判断する。	
		タクシー会社	夜間の利用客が若干数増えているようで、深夜時間帯の営業回数に多少の増加が期待できるかもしれないため、やや良くなっていると判断する。	
		タクシー会社	大きな状況変化がない限りにおいて、人流動向は増加傾向にあるものと思う。県内外のビジネス・観光等の予約も増加傾向にあるが、高齢者の来電回数の伸びが目立ってきているため、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	脱コロナもあるが、給料増額のニュースがあちこちで聞かれるようになり、収入が増えれば、消費も増えるのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。新型コロナウイルスが収まり、戦争も停戦や終結してくれたら、なお良い。	
		レジャー施設	コロナ禍によるマスクの着用も個人の判断に委ねられ、新型コロナウイルスの第5類感染症への引き下げも決定し、更に景気マインドの上昇が見込まれ、社会活動も活発なることが想定されるため、やや良くなっていると判断する。	
		ボウリング場	前年比が上昇しているため、やや良くなっていると判断する。	
		住宅販売会社	現在、賃金見直しの傾向が高く、各社とも賃金値上げが進んでいる。そのため、客も年収が上がる傾向がみられ、不動産土地建物も需要が出てくると思われるため、やや良くなると判断する。	
		企業	製造業(食料品)	新型コロナウイルスが5類感染症になればやや上向くと思われるため、やや良くなっていると判断する。
			製造業(窯業・土石製品)	今年に入ってから、見積りの量や受注が増加傾向にあり、しばらく続きそうな感じがするため、やや良くなっていると判断する。
製造業(輸送用機械器具)	市況高騰、エネルギーコスト増、半導体の供給懸念については、少しずつ改善の兆しが見えてきており、顧客への売価転嫁の加速等により、若干良くなっていくものと推察するが予断を許さない状況である。			
運輸業	顧客製品の出荷台数が増える見込みであるため、やや良くなっていると判断する。			

やや良	雇用	人材派遣業	今後も、受注は一層伸びていくと予想しているため、やや良くなっていると判断する。	
		求人広告	新型コロナウイルスの分類変更に期待しているため、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	商店街代表者	相変わらず、原材料や諸経費などの高騰に伴う値上げが続いており、一部の商品だけでなく、ほとんどの商品やサービスに影響が及んでいる。そのマイナスの影響で、せっかく新型コロナウイルスが下火になったプラスの影響が打ち消され、全体としてはあまり変わらないような気がする。	
		スーパー	物価高で慎重な買物が続いていると思うため、変わらないと判断する。	
		スーパー	このまま商品の値上げが続いていくようだと、最小限の物品購入となり、景気に影響が出ると思うため、変わらないと判断する。	
		自動車販売店	これ以上の物価上昇や世界情勢に大きな変化がない限りは、当面変化はないと思われる。	
		農産物直売所	商品の値上げが多くなり、買上げ点数が減少傾向にある。買控えが続くと思われるため、変わらないと判断する。	
		旅行会社	バスが毎日稼働していないため、変わらないと判断する。	
		観光名所	3か月先の問合せや予約が少ないため、変わらないと判断する。	
		レジャー施設	燃料費等が高止まりになっている傾向にあるため、景気は変わらないと思われる。	
		ゴルフ場	コスト増がある程度止まらなないと、上昇は考えられないため、変わらないと判断する。	
		理・美容店	しばらくは今の状況が続くのではないかと思うので、変わらないと判断する。	
		写真店	特に新しい仕事もないので、変わらない。	
		設計事務所	建設業界は職人不足と福利厚生充実、資材の高騰と資材納期の遅れ等々、不安定な状況であるため、変わらないと判断する。	
		企業	農業関係者	世界の情勢が良くならなくては、回復は難しいので、変わらないと判断する。
			製造業（印刷・同関連業）	人の動きが活発にはなっていないが、この先不透明な部分は拭えないと感じている。また、原材料・燃料関係の値上がりについても気になっているため、変わらないと判断する。
製造業（一般機械器具）	数か月待ちしていた購入部品が1か月程度で入るようになり、改善されてきている感じはしているが仕事量は戻ってきていないため、変わらないと判断する。			
製造業（精密機械器具）	難入電子部品も順次改善の途上であり、これまでよりは良い方向へ向かうはずである。よって、今後の入荷次第にもなるが、その都度仕掛品を出荷出来るので、弊社の業績にも反映出来ると思う。			
金融業	飲食業・小売業については、コロナ禍以降の行動制限に消費者も慣れた事もあり、現在の物価上昇や光熱費増加といった家計費負担が重く、以前のような客足には戻りづらい状況にあると思われるため、変わらないと判断する。			
情報通信業（情報サービス業）	特に変わりがない。			
雇用	求人開拓員	求人数、当所の利用者数共に横ばいの状況が続くものと思われるため、変わらないと判断する。		
やや悪	家計	酒・各種商品小売業	今は旅行割引もあるが、終わると旅行に行く人は減るかと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
	企業	建設業	受注が低迷し、設備投資等の需要が減少している傾向が続くと予想するため、やや悪くなっていると判断する。	
		運輸業（道路貨物運送業）	商品の値上げや燃料価格の高止まり、電気料金の高騰によって、低調傾向が加速すると思われるため、やや悪くなっていると判断する。	
		不動産業	ベアを上げる取り組みをしても、物価高はそれを上回ると予想。仮にベアが実現しても、実生活では高くなった食料量・電気代等を補うのが精一杯で、個人消費はしばらくの間冷えたままと考えているため、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	学校就業関係者	世界情勢が好転せず、悪化した状態が長期化しており、継続的に影響を受ける業種・業界の増加が想定されるため、やや悪くなっていると判断する。		
悪	家計	観光型ホテル	全国旅行支援の終了に伴い、そのリバウンドから需要の減少があると見ているため、悪くなっていると判断した。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	GW、夏に向けて更に外出する人が増えていくため、良くなっていると判断する。昨年よりも外出する人が増えると思われる。
		農産物直売所	3か月先は、当店の一番の目玉であるメロンの時期になる。この時期は県内のみならず、県外からも多くの客が来店して売上げも上がる。そのため、良くなっていると判断する。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの影響で抑えられていた消費意欲が高くなると思う。
		旅行代理店	物価高騰ではあるが、緩やかに回復すると思うので、良くなっていると判断する。
		道の駅	新型コロナウイルスの鎮静化にともなう観光需要の回復、インバウンド景気等により、良くなっていると判断する。
		クリーニング店	現在、人の流れが多いので、今後の景気は良くなっていくような気がする。
	雇用	民間職業紹介業	増産や増員の話が複数企業から出てきているため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	家電販売店	今後の政治判断によっては、集客に変化が出る可能性があるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（食品）	コロナ対策が緩和されて、やや良くなっていると判断する。
		小売業	長期に亘って続いたコロナ禍の行動制限も、やっと緩和され、少しずつ交流が活発化するので、やや良くなっていると判断する。
		洋食食堂	徐々に飲食の機会が増えると思うので、やや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	予約の組数が増えているため、やや良くなっていると判断する。
		運転代行	多少の人の動きは期待できると思う。売上げも上がるのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	この時期は、毎年恒例、工場の定期修理の時期なので、全国からビジネス客が来館するため、やや良くなっていると判断する。
レジャー施設	新型コロナウイルスが終息に向かっており、マスク着用も個人の判断となること、新型コロナウイルスが5類感染症に移行することが非常に影響が大きいので、やや良くなっていると判断する。		
企業	製造業（ゴム製品）	客先からの3か月発注予定も見て、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	スーパー	値上げによる買渋りも依然としてあるため、変わらないと判断する。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの心配は緩和されたが、物価、公共料金、税金等の家計圧迫により儉約するため、変わらないと判断する。
		農産物直売所	良くなる要素が見当たらないため、変わらないと判断する。
		小売業（薬品店）	商品の値上げも続くことが予想され、良くなる見込みがないため、変わらないと判断する。
		小売業（薬品店）	コロナ禍が落ち着いても、この3年間の生活が身につけており、新患が増える要素は感じられないため、変わらないと判断する。
		割烹料理店	予約は徐々に増えてきているが、材料費や光熱費の上昇で厳しい状態になっているため、変わらないと判断する。
		海鮮料理店	人流が止まっていること及び人口の減少により、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	政策等に打開する施策が見込めない。給与のベースアップも期待できないため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	物価上昇の影響を受け、レジャーへの支出は控えられるのではないかと推測により、変わらないと判断する。
		住宅販売会社	金利・資材高騰等の要因で良くなるとはあまり思えないため、変わらないと判断する。
	住宅販売会社	特に明るい要因や悪い要因がないため、変わらないと判断する。	
	企業	農業関係者	物価高の影響は続いており、今後もメーカーによる値上げ品目が予測されており、円安、燃料高騰など生産コストの上昇は避けられない状況が続いている。この生産コストを農産物販売に価格転換するのは難しい状況であるため、今後の景気判断についても変わらないと判断する。
		製造業（一般機械器具）	見積りものの引き合いが増加しているが、4月から材料費の値上げが言われているため、変わらないと判断する。
製造業（食料品）		この春で、大手企業がどれだけベースアップできるか。また、中小企業まで賃上げできるかはまだ先であるため、変わらないと判断する。	
製造業（鉄鋼業）	特に大きく変化が起こるような兆候は見られないため、変わらないと判断する。		

変わらない	企業	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスによる、景況はもう少し（2～3年）続いていき、日本単独でこの状況は脱出が難しいと思うので、変わらないと判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	物価高により財布の紐が固くなっているため、変わらないと判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	直近3か月の前年対比が横ばい、むしろやや下降気味である現状の状況で推移するように思うため、変わらないと判断する。
		金融業	売上げが徐々に回復している企業も見受けられるが、人材不足や原材料価格高止まりの影響を受け、利益増加には至っておらず、業況改善には今しばらく時間を要するため、変わらないと判断する。
		サービス業	来社する客は徐々に増えてきているが、商談自体は低調であり、今年度中は大きな変化があるとは思えないため、変わらないと判断する。この時期になると、来年度に実施時期を繰越す客も出てくるが、そのようなケースが例年に比べて若干増えているように感じる。
		サービス業（会計事務所）	今後も物価上昇が続くと予想されるため、変わらないと判断する。
やや悪くなっている	雇用	求人開拓員	中小企業の賃金については、すぐにはアップされないであろうし、物価高も解消される様子がないため、変わらないと判断する。
		家計	商店街代表者
	家計	スーパー	値上げが続いているため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	今後、更に価格が上がる商品もあるので、買上げ点数がもっと減ってしまうのではと考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	連日、卵が最高値、物価上昇のニュースばかり。一般の消費者が洋服を買おうという気持ちにならないため、やや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	今後3か月となるとGWは含むが、閑散期と、さらに全国旅行支援の延長が予算の影響で長くないことから、これまで支援を使って旅行をしていた層が少し控えられる可能性も考え、少し落ち着くのではと考える。同時に材料費等の高騰の影響で、宿泊費の値上げをせざるを得ないものも多くあるので、観光などの産業は自ずと控えられるのではないかと考えるため、やや悪くなっていると判断する。
企業	製造業（その他）	原材料はますます上がり、場合によっては既存受注アイテムが転注されてしまう可能性も高まってくるため、やや悪くなっていると判断する。	
	建設業	4月からは、さらなる値上げが発表されているので、やや悪くなっていると判断する。	
	不動産業	色々な物の値上がりで給料が少し上がっても財布の中身は今までと同じ、もしくは少し少なくなっていると思う。全体的に、コロナ禍前と同じ売上げになっていない業種が多いと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	公共職業安定所	管内の産業構成が製造業を中心としているため、原材料価格の高騰の影響が長引くほど、景気は悪化していくものと思われる。	
	学校就業関係者	物価・高熱水費の高騰に給料の上昇が追い付いていないため、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	小売業（書店）	インフレの影響が大きいと思うので、悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	お先真っ暗な状態のため、悪くなっていると判断する。戦争次第。早く終息しなければいけない。日本だけの問題ではない。世界がもっと強く、ロシアに圧力をかけないと、ウクライナの人達が不憫すぎる。どんな理由があれ、戦争は絶対にやってはいけない、不幸になるだけだ。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業	電力不足や物価上昇による影響はあると予測されるが、マスク廃止や新型コロナウイルス5類感染症への移行の流れを受け、コロナ禍前を超える消費活動が見込まれる。コロナ対策を継続しながら、通常の買物やサービス利用は上向くと感じるため、良くなっていると判断する。円安を受け海外旅行は足踏み傾向かと思われるが、GWについては国内旅行ニーズが盛り上がりすると推測する。週末は行楽に出かける傾向は高まるが、商業施設の利用は、平日などうまく時間を調整して消費は継続して上向くと考える。
		タクシー運転手	ウィズコロナが定着してきて、我慢してきた事に対して積極的に取り組むと言う意識が変わって、明らかにコロナ禍前の状態に近付いている。
		タクシー会社	新型コロナウイルスやインフルエンザが落ち着いて、どんどん出かける人が増えると思うので、良くなっていると判断する。
		ボウリング場	3月13日のマスク着用の緩和に合わせるかのように、企業からの団体予約が増え始めた。一般客も増えてくると予想されるので、良くなっていると判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの収束により、レジャーが活性化するため、良くなっていると判断する。
		理・美容店	新型コロナウイルスに対するネガティブな思考が弱まってきているので、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの対応が、5月より5類感染症へ変更になること、大型連休、賃金上昇の期待感もあり、消費が増えるのではないかと予想しているため、やや良くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	もっと人流が増えるので、やや良くなっていると判断する。
		小売業（米穀）	マスクの制限が自己判断になり、イベント開催も増えてくるので、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	利益率は高物価にて減少であるが、景気はやや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	この先も3月13日のマスク着用の個人判断、5月8日以降、新型コロナウイルスの5類感染症引下げなど、ますます宿泊・宴会・婚礼・レストランも上昇方向と思われる、景気も良くなってくると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	6月になると、ホテルとしては宴会の需要が増えていると期待し、また、付随する宿泊の稼働率も上がると期待しているため、やや良くなっていると判断する。しかし、食材や光熱費の高騰により売上げ利益を出せるように、値上げをする予定なので、客離れしないように注意したい。
		タクシー運転手	客の外出への抵抗は少なくなっており、更に人出は増加すると見込んでいるため、やや良くなっていると判断する。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの感染予防に対する規制の緩和が一層進むことで、観光需要の更なる高まりが期待される一方、物価や水光熱費等生活費の高騰は今後も続くと思われるため、客の動向が読みにくい、全体としての景気は良くなると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	来場客が増えており、予約の入りも早く感じられるため、やや良くなっていると判断する。
		テーマパーク職員	感染対策の緩和に伴い、今まで以上に新型コロナウイルス流行前の景気に戻ると予想するため、やや良くなっていると判断する。
		設計事務所	春になって、人の行動が活発になり、明るいムードになると思うので、やや良くなっていると判断する。
企業	企業	製造業（飲料）	新しいペット製品を作る設備が整い、稼働が開始したことから、それに伴う需要が拡大すれば、売上げに少し貢献できることも見込まれるので、やや良くなると判断する。
		建設業	新年度に入り、インフラ整備工事が発注されると思われる。若干上向きに動くと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		建設業	受注が多くあれば、全体的に景気は良くなるのではないと思う。しかし、これから先、物価の上昇がいつまで続くのか、また、品物の入荷が問題ではある。
		金融業	物価上昇に対する各企業による経費削減努力が見られたり、以前影響が大きかった物流停滞が徐々に解消されてきており、事業活動がスムーズに進むようになってくると予想され、少しずつ景気が良くなってくると期待される。
雇用	学校就業関係者	業務の関係から、製造業の企業と話をすることがあるが、売上げは右肩上がりになっている企業が多く、景気はやや良くなっていくと判断する。	

変わらない	家計	家電販売店	電気代の値上げなど、いろいろなものが更に値上がりしていくので、変わらないと判断する。
		スーパー	値上げラッシュが止まらない限り、景気の向上は期待できないと思う。より一層、買控えが増えると思うので、変わらないと判断する。
		小売業（生花店）	商品の特性上、食料品と違って必需品ではないことから、3か月先も変化は期待できないため、変わらないと判断する。
		和食食堂	宴会・法事・会食などの客が増えないと良くならないため、変わらないと判断する。
		都市型ホテル	このまま客足は止まらないと予測している。よって今の景気を維持出来るものと判断しているため、変わらないと判断する。各企業が、一時の社会停滞期からいち早く立ち直ろうと努力しているので、客足が減るとは考えにくい。良い傾向である。
		タクシー運転手	4月から5月にかけての連休で、売上げが伸び悩むと思うので、変わらないと判断する。
	企業	農業関係者	顧客に対して生活物資の注文など、訪問先で提供商品について値上げの案内を行っているが、「他も上がっているから仕方ない」と言われながらも渋々購入していただいている。大企業はそれに伴った賃金ベースアップも行われているようだが、一般家庭においてはそうとは限らず、悪化傾向の改善には、大胆かつ公平な国内施策が必要と感じているため、変わらないと判断する。
		農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらないため、変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	弊社の商品だと消費者との売上げに変化は少ないと思う。業者からの委託製造が例年通りに減らずに受注があった。今後の値上げ分の価格変更を順次行っているため利益が改善されると思う。但し、燃料費・原材料費の値上げがどの程度まで行くのかが不明。売上げの見込みは立っているため、変わらないと判断する。
		製造業（印刷・同関連業）	特に良い材料・悪い材料とも見当たらないため、変わらないと判断する。
		製造業（非鉄金属）	半導体不足が解消できる時期が不透明なので、変わらないと判断する。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。
		不動産業	物価の高騰が落ち着いてくると思うので、変わらないと判断する。
		運輸業（倉庫業）	貨物の動きが今後良くなる等の情報が得られていないため、変わらないと判断する。
雇用	求人広告	変わる要因が思い当たらないため、変わらないと判断する。	
	公共職業安定所	コロナ禍での経済活動の正常化に期待する声は聞かれるが、物価高騰による影響が払拭されないため、変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	今後も商品の値上げが続き、節約志向が高まっていくため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	春の値上げが影響しそうなので、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	報道においても現在の物価高傾向は更に上昇するとの事なので、本来であれば「やや」ではなく「悪くなっている」と思っても良いところだが、政府の要請により一定数以上の企業は値上げを実施すると期待しているため、やや悪くなっていると判断する。
	住宅販売会社	大手は値上げをしているが、中小企業は値上げが難しく物価高に追いつかないと考えられるため、やや悪くなっていると判断する。	
	企業	製造業（食料品）	商品価格が高騰して、購買意欲が少なくなるのではないかとと思われるため、やや悪くなっていると判断する。
製造業（窯業・土石製品）		原材料が高騰。原価高となり、利益を圧迫している状態がしばらくは続くと思込まれるため、やや悪くなっていると判断する。	
製造業（窯業・土石製品）		食費や生活用品をはじめ、企業で使う部品等においても、少なくとも物の値段が元の価格へ下がることはないと思われ、高止まりが想定される。手取り給与との差が更に大きくなり、全体的に景気は浮上せず落ち込むと考えているので、やや悪くなっていると判断する。	
不動産業		金利も上昇傾向にあり、住宅購入や設備投資は鈍る。また、返済猶予が終わり、会社の倒産も増加しそうなので、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	民間職業紹介業	商品納期遅延等が続き、解決しそうなもないため、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	農産物直売所	売上げの前年比は悪くなっているし、客数の前年比は、より悪くなっていることが今後も続くと思うので、悪くなっていると判断する。
		理・美容店	繁忙期ではないので、悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	価格重視の客が増えて、今後、安い所を探す人が多くなると思うので、悪くなっていると判断する。

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	食堂	新型コロナウイルスの5類感染症への引き下げなど、単純に先が見えない要素が無くなるため、良くなっていると判断する。
		和食レストラン	新型コロナウイルスもただの風邪になるので、安心して人が動くのではないかと思うので、良くなっていると判断する。
	企業	製造業（金属製品）	注文も増えていて、過去最高の売上げになりそうなので、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	商品価格の値上げにも関わらず、価格帯の1ランク上の品の予約が多いため、やや良くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	3月13日からマスクの着用が自由になり、人の動きが良くなると思うので、やや良くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	コロナの運用変更に加えて、一部大企業を中心に賃金見直しの動きが強まると予想されるため、物価上昇の中でも安売りを売りとしていないコンビニにとっては、景気は良くなるのではないかと考えるため、やや良くなっていると判断する。
		自動車販売店	今の状況が続いてくれば、違うと思うので、やや良くなっていると判断する。
		小売業（酒類）	脱マスクや新型コロナウイルスの5類感染症相当への移行など、さまざまな緩和が進むと、季節的にも暖かくもなるので、外出や人と会う機会が更に増えてくると思うので、やや良くなっていると判断する。
		レストラン	客が少しずつ動き出している感じがするため、やや良くなっていると判断する。しかし、この物価高、エネルギー高（電気、ガス）により、客が店で使う金額が明らかに下がっている。
		日本料理店	平日の客が戻ってくると思う。客単価が上がっているため、やや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	新型コロナウイルスが、このまま減少を続ければという希望的なものを含めて、やや良くなっていると判断する。
		観光型ホテル	団体で行動することを許されたことにより、行楽を予定する客が増えてきた。老人会、組内会、中学校関係の宿泊の予約が入るようになったため、やや良くなっていると判断する。まだまだ油断はできないが、予約をそのまま予定できるだけでも、売上げが予想できることになる。
		道の駅	春から夏に向け外出（旅行）する人が、更に増えると予想されるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	マスクの規制緩和に伴い、全国的なイベント行事も活性化され、良化してくると推察する。ゴルフ場も値上げ傾向にあるが、予約状況は昨年同時期より良いため、やや良くなっていると判断する。
		レジャー施設	GWに向けて、人の動きが活発になっていくと思われるので、やや良くなっていると判断する。
		商店街代表者	今後、新型コロナウイルスの終息により新年度に向けて、各種イベント等の開催や業種によっては、業績向上が見込まれるのではないかと予測しているため、やや良くなっていると判断する。
		クリーニング店	4月から暖かくなり繁忙期に入る。当然1月2月と比較しても数字的には良い。また前年と比較しても昨年夏より景気回復の兆しはあるため、やや良くなっていると判断する。
企業	畜産業関係者	新型コロナウイルスの影響が薄れていることを考えて、やや良くなっていると判断する。	
	製造業（窯業・土石製品）	大手企業の賃上げ表明が相次ぎ報道される中、個人消費の伸びを期待して、景気拡大を見込む話が多く聞かれるため、やや良くなっていると判断する。	
	不動産業	賃貸管理会社が退室後の家賃設定に強気になっているため、やや良くなっていると判断する。	
	サービス業（コンサルタント業）	現在の状況が継続されるのではないかと考えるため、やや良くなっていると判断する。	
雇用	人材派遣業	4、5月に新たな大型倉庫の竣工がいくつかあり、雇用の増加が見込めるため、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	商店街代表者	インフレや客単価の減少により、変わらないと判断する。
		スーパー	特に変わらない。
		家電販売店	所得が上がらないため、現金払いよりもカードやローン決済が多い。
		農産物直売所	物価上昇に伴い、客の優先順位が生活必需品になってしまい、余計なものは買わない（財布の紐が堅い）ため、変わらないと判断する。
		メガネ・時計販売店	3か月先の景気予測の材料がなかなか見つからないため、変わらないと判断する。

変わらない	家計	レストラン	物価がどんどん上がってきているし、値上げを考えている。客にとっても同じなので、一般的に消費力は落ちるかもしれないと思うので、変わらないと判断する。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響と物価高騰、電気代、ガス代高騰で収益が悪化している状況は続くため、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	コロナ禍前のように景気が回復しているように見受けられないため、変わらないと判断する。
		タクシー運転手	国の政策に希望が持てないため、変わらないと判断する。
		道の駅	今後は、物価高の影響で客数に変化が出てくると考えるため、変わらないと判断する。
		ゴルフ場	3か月先の予約状況は例年並みなので、変わらないと判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスが落ち着いてきている反面、物価上昇や社会的先行き不透明による不安から、支出する機会は増えているものの、買控えも発生しているように感じられるため、変わらないと判断する。
		設計事務所	物価高騰の影響を受けて事業進捗がスムーズに運ばないと思うので、変わらないと判断する。
変わらない	企業	製造業（電気機械器具）	ウクライナ侵攻によるエネルギー価格の高騰は、今後も続くと思われるため、変わらないと判断する。
		製造業（化学工業）	中国を始めとして景気の回復基調はまだ感じられず、需要低迷が続くと思われるため、変わらないと判断する。
		製造業（金属製品）	年度初の2か月程度は目立った注文は期待できないため、変わらないと判断する。
		製造業（電気機械器具）	中・長期の予測は難しいが、この状況は当面続くと思われるため、変わらないと判断する。
		建設業	原材料の高騰がまだまだ続くと思われるので、景気は変わらないと思う。
		金融業	光熱費の費用がすぐに以前の水準に戻ることは考えにくく、変わらないと判断する。
変わらない	雇用	人材派遣業	人材が集まらず、求職者が少ないため、変わらないと判断する。
		求人広告	体力のある企業は、景気が回復していくかもしれないが、そうでない企業は右肩下がり、もしくは現状維持が精一杯なのかもしれないと感じる。その中間を取ると、比率的に景気が回復したとは感じる事ができないので、変わらないと判断する。
		学校就業関係者	求人企業数は多いが、学生が少なく企業に紹介が出来ないため、変わらないと判断する。
		求人開拓員	原材料価格や電気代、ガス代などの高騰により、家計は更に厳しさを増している。物価上昇を上回る賃上げが期待できなければ、家計は苦しい状況が続く恐れがある。
やや悪くなっている	家計	スーパー	商品の値上げが続いていることから、ますます客の消費に影響があると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	今は学生物のついでに、一般衣料の売上げもあるが、時期が過ぎれば、客の流れはスーパーや量販店に流れてしまうため、やや悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	現在の不況が続くと、ボディブローのようにかなり効いてくると思う。物価は高くなり、収入はないので、やや悪くなっていると判断する。
		理・美容店	生活必需品の物価高騰や、公共料金の値上げなどの影響だと思うが、財布の紐が固くなった感じがするため、やや悪くなっていると判断する。電気料金の値上がりがかかり影響を及ぼすと思う。
		設計事務所	4月になってからの値上がりが懸念材料のため、やや悪くなっていると判断する。
	悪	企業	農業関係者
製造業（窯業・土石製品）			電気やガスの高騰が収まる見込みがなく、それに伴い原料や梱包資材も値上げが続いているため、やや悪くなっていると判断する。
製造業（印刷・同関連業）			原材料の高騰が進行する。しかし、製品価格に転嫁できそうにないため、やや悪くなっていると判断する。
製造業（窯業・土石製品）			この業界は「谷」の時期なので、なかなか受注できないし、仕事そのものがないため、やや悪くなっていると判断する。価格では、中国製品に競争できないので、納期や品質の面で、差別化を図りたいと思う。
製造業（金属製品）			材料価格の高騰や、部品の入荷状況が未だに悪いために、受注は受けているものの納入見込みが立たないため、やや悪くなっていると判断する。
建設業			受注の減少により、やや悪くなっていると判断する。
悪	家計	製茶販売	良くなる要素がどこにあるのか。
	企業	製造業（食料品）	良くなる要素がない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	価格に敏感になり、小口の注文が増えた。
	スーパー	新商品などの動きは良い感じで、メーカー各社、力を入れている様子である。新しい物の開発などで、景気が良くなればと思う。
	スーパー	卵不足が深刻である。戦争の影響でエサ代等で値上がりした所に、鳥インフルエンザによる殺処分ということで、2倍以上に値上がりしている。高いだけでなく、数量の確保も難しい。相次ぐ値上げの影響で、メーカー、問屋、小売すべての業態で対応に追われ疲弊している。仕事が追いつかないからか、案内の遅延も多々発生していて小売店は困っているのが現状。
	コンビニエンスストア	旅行に出かける人が増えてきている。
	小売業（食料品）	本当に、新しい生活様式が定着しつつある感が強くなってきている。
	小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスによる影響は少なくなることは見込めていても、急激な物価・人件費の上昇により、収益が悪化することに不安な声が多い。また、サービス業では人材不足の慢性化が顕著で人の確保は急務である。加えて、現在の扶養控除制度の範囲内の勤務条件では、働く時間が徐々に短くなり人材不足に拍車をかけている。扶養控除の根本的な見直しが必要ではないかとも考えている。扶養控除の名のもとに補助の格差が出てはいないか。
	衣料品販売店	外食に行く話をしている客がだいぶ増えていると思う。
	小売業（酒類）	昨年、地元自治体で30%割引セールを実施（50万円限度）。久しぶりに活気があり、今年も希望している。
	小売業（水産物）	企業の倒産や破綻を聞くことが増えた。
	小売業（時計）	使う人は高額品に手を出すようだ。
	レストラン	県北の景気が早く良くなってくれることを祈りたい。
	レストラン	大型ショッピングモールが間もなく完成する。どこまで人流が変わるか分からないが、今まで地元にあるホームセンターやドラッグ、スーパーなどは対応に追われている。撤退の噂も出ている企業もあるため、果たして景気が良くなるのか、逆に悪くなるのか分からない。
	スナック	企業の人達が飲み会を自粛してたらしいが、最近見かけたり、話を聞く機会が増えた。
	日本料理店	外国人客が来店するようになってきた。食材の値上げが続いている。最近、グループ客が増えてきた。
	観光型ホテル	商業施設やテーマパーク、公園等に出かけると、以前より明らかに人出が増えている。
	旅行会社	秋に向けての情報が多くなってきているので、良い方向に進んでいると思う。
	タクシー運転手	各種イベントが再開した。新型コロナウイルスの感染者が減った。
	ドライブイン	電気料金の高騰が大きい。いつものように買物していると、2~3割高くなっていて驚く。
	レジャー施設	例年、春先に臨時職の募集をするが、今年は応募が少ない状況。やはり、人手不足が深刻であると感じている。その対策として、効果があれば良いのだが応募者を増やすために、処遇（時間給）の改善に踏み切った。また、物価高でもあり、就労する者は少しでも処遇が良い職場を選択すると考えるが、総体的に国内では賃金上昇が物価高に追いついていないことを実感している。
	ゴルフ場	食品類の値上がりについての報道をよく目にするが、周りでは電気代や燃料の値上がりの方がよほど影響しており、営業時間の短縮や休業日を増やしている店舗が増えているように思う。物価が上がっているから賃金を増やそうという国や大企業の発言があるが、そもそもそのような体力のない中小企業が、営業時間の短縮や休業日の増加により営業収入も減る中で、どうやって賃金を上げるのかという不満を以前より顕著に聞くようになった。
	写真店	単価の高い人と低い人の二極化がはっきりとしてきた。予算内の人は、あくまでも予算の範囲内での買物に終始する傾向にある。
設計事務所	市内の商業施設が新たにオープンする。	
企業	林業関係者	林産業界もコロナ禍のウッドショックも落ち着きだした。しかし、価格が高騰した分の変動が予測できない。円安も関係し、コロナ禍前以上の冷え込みなど予感させる。仕事も動きを止めることは出来ないで、今後の動向は大変に不安。製品価格の下落。運送コストの上昇等。
	製造業（電気機械器具）	鋼材等の仕入価格が上昇している。
	製造業（電気機械器具）	物価高騰は個人も企業も厳しい。
	製造業（精密機器）	弊社の市場動向では、今後も、大幅な増減はなく、安定した受注が見込めると考えている。
製造業（精密機器）	自動車関係の部品受注が安定しつつある。旅行等に出かける人が増えて、外食に対しても、以前よりは行きやすくなっている。	

企業	製造業（その他）	食料品や生活必需品、電気・ガスの値上げが痛い。ライフラインの価格上昇は直接生活に影響する。中小は賃金のベースアップもなかなか叶わず、贅沢品の購入意欲もわかない。
	建設業	建築業界は建築価格の高騰が止まらないので、早い時期に家を建てたいというニーズがあることは実感している。不動産業界としては、相続した古い空き家を解体して、土地を売却したい客が増加している。
	金融業	売上げは回復傾向にあるものの、度重なる原材料や燃料高騰により価格転嫁が追いつかず利益に影響を及ぼしている。
	非製造業（その他）	同業種の範疇でしか分からないが、新卒者の基本給の賃上げ傾向がみられる（5%以上）。既存社員も同様に上がる状況と思われる。
雇用	求人広告	物価高騰に対して、雇用の賃上げを体感出来る中小地方企業は少なく、新型コロナウイルスのダメージも相まって、全体的な体力の低下を感じる事が多い。
	公共職業安定所	自動車製造における半導体の納期が遅れているため、自動車本体の製造遅延が続いている。
	学校就業関係者	物価上昇が気になる。
	求人開拓員	駅の橋上化もほぼ完成し、南北通路も利用可能となった。利用者として、非常に便利でありがたく思っている。地区がますます発展していくことを願っている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	弊社の取扱い品も値上げが止まらない。同じ商品がここ約1年の間に、2、3回値上げしたことも珍しくなく、当初の値上げ前の価格の3～4割増し位になってしまっている。その分、従来より数量や回数を減らしての購入が目立つ。
	商店街代表者	顧客の中で、また1社、後継者不足のため廃業する業者が出ている。
	小売業	電気代やガソリン代の高騰。
	スーパー	良い傾向のまま続くと思う。携帯電話（スマホ）で連絡しあってからの購入や、商品確認し、定価などの確認をして購入する姿が以前よりあったが、若い客が増加したこともあり、最近多く見られる。
	スーパー	酒類の売上げが低調だ。節約の対象になっているのかもしれない。
	スーパー	市町村発行のプレミアム付き商品券の利用が多く、昨年同時期より売上げが伸びた。商品の価格高騰による買控えを懸念していたので、非常にありがたかった。
	酒・各種商品小売業	少しだが、団体での食事会や飲み会もあるようになった。
	楽器販売	毎年この時期に動く商品に関して言えば、去年よりは良好な状況である。
	農産物直売所	寒波のため、2月は野菜入荷減で価格は高かったが、燃料費の値上げにより、加温ハウス栽培をやめた生産者は今後もやらない旨言っている。
	日本料理店	インバウンドが少しずつ増えてきているので期待したい。
	食堂	来店客の人数が増えた。
	割烹料理店	最近では外ではマスクをしていない人を少しずつだか見かけるようになった。早く海外のように通常の生活に戻ってほしい。
	観光型ホテル	地域の祭事を見ての宿泊なのか、シニアの方の利用が多くなった。
	旅行代理店	いろいろなイベントに多くの人が集まるようになった。
	旅行会社	コロナ禍になってから、給料が上がらない。物価ばかり高くなって、生活が苦しい。
	バス運転手	旅客需要は回復傾向にあるが、コロナ禍以前からの課題であった人員不足により、需要に応えられるかどうか不安が残る。
	タクシー運転手	繁華街に関しては、客が増えている感じはしないが、タクシー業界は若い人を中心に、アプリでの依頼が増えている。
	タクシー会社	県内外からの観光問合せや予約依頼が増加傾向にある。また、高齢者の配車依頼も増えてきている。
	道の駅	インボイス制度が10月から始まるが、免税者が課税事業者になっていく過程で、いろいろな値段が上がっていく傾向が出てきている。値付けもまた108円とか消費税を意識したものになっていくと思われる。1円5円玉がまた活躍できる時代になるかもしれない。人件費上昇に伴い、施設の機械化が進んでいくと思われる。設備投資が増える代わりに、雇用が減っていく方向になると思う。
	レジャー施設	旅行に出かける人が多くなり、新型コロナウイルス感染拡大前の活発さが少し戻ったように感じるが、生活するうえでの食費、水道光熱費が上がり各家庭の家計を圧迫しているように感じる。
スーパー銭湯	電気代高騰による将来的不安から、大型の設備投資や事業継承でのタイミングで、廃業を選択する会社が身近に何社かあったのが衝撃的だった。海外旅行に行く方、計画される方も増えた。	
ボウリング場	新型コロナウイルスも終息しつつあり、段々と通常に戻りつつあると考える。	
写真店	物価上昇で厳しい状況が多い。	
住宅販売会社	賃貸関係のことではあるが、この時期1月～3月は繁忙期といわれる月になり、来店件数も多くなるが今年では来店数も例年よりは少なく、動きがよくない地区があるとの事。	
企業	製造業(食料品)	ここにきても飲食業界の不調話を多く耳にする。
	製造業(印刷・同関連業)	値上がりの問題については、ある程度理解してもらえるが、やはりこの先の不透明さが気になる。
	製造業(窯業・土石製品)	全ての商品が値上げしているが、購買意欲は高いように感じる。
	製造業(一般機械器具)	マスクの着用が個人の判断になり、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行と動きが活発になるので、経済が動くのを期待する。

企業	製造業（精密機器）	大勢での飲食が増えてきた。
	製造業（精密機械器具）	現在コロナ禍の規制が順次緩和されているが、早くも海外の代理店から工場見学と弊社製品の研修に10数名で来社したいとの要望がある。ここ数年来途絶えていたので、隔世の感がある。
	建設業	新たな動きがあるとみられ、良い景気にと向かうように感じる。ただし過去の動きとは異なりそうだ。
	運輸業（道路貨物運送業）	2024年問題を見据えて労働時間短縮を図るため、事業用トラックの高速道路利用が増えているように感じられる。物価上昇に加えて、法令順守に伴う経費増が経営を圧迫しかねないのが現状であるが、DX化等による工数削減で業務の効率化ができれば、持ち堪えることが出来ると考えられる。
金融業	周辺は商業地であるにも関わらず、新規出店等は依然少なく、土地の有効利用は高層マンション建築がメインとなっている。今年の夏には新しい市民会館が完成する予定となっており、新型コロナウイルスの5類感染症移行と併せて市内活性化を期待したい。	
雇用	求人広告	給料のアップよりも物価の上昇の方が高くて生活レベルが落ちている。
	公共職業安定所	多くの業種（旅行業、製造業等）で人手不足の状況が見られる。理由としては「新型コロナウイルスの感染拡大により人員削減を行ってきて、最近になって感染状況が落ち着いて受注量が戻ってきても、求める人材がすぐに見つかるわけではない」という声が多い。
	学校就業関係者	身近な日用品の値上げが続いているため、消費を抑える傾向も続いている。職場においても光熱費高騰により、節電等の対応を継続的に行っている。
	求人開拓員	家庭生活に不可欠な光熱費、食料品費の値上がりが続いている。一部大手企業では賃金アップの動きがみられるものの、大多数の事業所、個人事業主の賃金上昇には時間がかかり（もしくは取り残される）、不景気感が強まってくるものと思われる。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	プレミアム付商品券の利用期限が到来し、事業者へアンケートを行った結果、売上げ・来店客数・新規顧客の増加があったとの回答があった。満足度に関しては非常に満足・満足の割合が多数を占め、事業者への一定の効果と、市内の景気の底上げに貢献できたのではないかと感じている。
	コンビニエンスストア	昨年とは違い、桜まつりや、マラソンイベントが開催されている。
	衣料品販売店	知人の会社が今年倒産。不景気を身近に感じる。
	農産物直売所	買控え、必要なもの以外は買わない、という客が増えていて、客単価が落ちている。
	農産物直売所	品物の値段が、以前に比べて値上がりしている。ロシアとウクライナの戦争などの影響で各所で品物が値上がりしているが、当店にもその波が押し寄せている。今後更なる値上がりの可能性があると思い、不安を感じている。
	小売業（菓子類）	旅行に行くなど人の動きが活発になって、消費が増えて、景気は良くなっているように思う。
	小売業（薬品店）	花粉対策関連商品は販売好調である。
	小売業（書店）	やはり趣味の商品には、食料品の高騰が大きく影響すると思う。
	洋食食堂	会合の予約が少しずつ増えている。
	海鮮料理店	客数が多くても、売上げが少ない。出費や税金が高くて、今後営業しても楽にならない。電気、ガス、調味料すべてが高くなり、なんのために長時間働いているのか分からない。
	観光型ホテル	原材料費の高騰というのは、閑散期繁忙期関係なく経営にダメージを与えるものとなるので、普段の生活に影響があることをメディア等で多く流れると、少しでも安く済ませたいと低価格帯やレベルを下げた観光が多くなってしまふ。その中で最大限のおもてなしをしようとする、どうしても現場で働いている人材の負担が大きくなるが、給料は変えられず、人材も少なくなるという悪循環をどう改善するかが問題となっている。
	運転代行	景気は良くならないのに、物価だけが上がり、日常生活に非常に悪影響を受けている。早く景気が良くなってほしいと願う毎日だ。
	タクシー運転手	一段と仕事が厳しい状態が続いていると思う。給料は歩合計算で、仕事をしなければ給料がない。現状では、若い人材がほとんどいないが、現状の給料形態では人材が集まらない。若い人材が安心して働けるようにしなければならない。今の状態が続けば、会社が成り立たなくなる。
	道の駅	人件費の引上げ。
	レジャー施設	ゴールデンウイーク明けに新型コロナウイルスが5類感染症扱いになるが、卒業式等を考慮しマスク着用の個人判断を前倒したことで現場は混乱している。いばらきアマビエちゃんにしてもあいまいな指針で分かりづらい。
住宅販売会社	住宅工事に携わってる業者以外（ゼネコンの工事）は忙しそうなお話を聞く。	
住宅販売会社	スーパーマーケットの割引の日に客が多い。値段に敏感になっている。	
企業	農業関係者	昨年と比較して電気代の値上げ幅が予想をはるかに超えており、周りの人も含めて驚いている状況である。このような状況が続けば賃金の上昇率をはるかに超え、可処分所得の減少が避けられなく厳しい状況が続くと思われる。
	製造業（その他）	会社の人たちの話としても、安いスーパーへ買いに行くというような価格意識が今までより高まっている。
	製造業（食料品）	イベントや祭りが復活しているので、市民のコロナ越えの意識は出てきている。
	製造業（金属製品）	生活用品等の物価は大幅に上昇しているため、一般社会人は大変な状況にある。
	建設業	今年1月の自宅の電気料金が前年同月で2倍の上昇である。
	運輸業（道路貨物運送業）	運送業界は2024年問題と言われる法律的なものが変わるため、今後不安がある。
	運輸業（道路貨物運送業）	物価高が影響して、消費への節約など意識の高まりを感じる。
	保険業	収入の格差が見られる。
不動産業	今年末完成予定の建物の見積りを取っているが、鉄骨関係は同じ位である。値上がりして1トン13万円位。その他、令和4年末～令和5年4月1日以降にかけて値上げラッシュである。建物テナント関係だが、予算が大変である。去年4月から比べると、今の見積りは約15～20%上昇している。	
雇用	公共職業安定所	事業の廃業や、事業所の撤退の動きが見られるようになってきている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	スーパー	マスクの着用が任意になったが、今のところ店内では、客は皆、マスクをして くれている。
	スーパー	鳥インフルエンザの影響はかなり大きく、全体の価格が高騰したため、レギュ ラー品から高級品へ利用がシフトしている。また卵を使用している加工食品 は、人気商品ですら入荷がストップするなど影響が出ている。
	農産物直売所	商品の物価高は止まる所を知らない。客の財布の紐も当然固くなってくると思 う。
	小売業	施設のイベント等はコロナ禍前と同様に戻り、客も積極的に参加している。ま た行政やNPO団体のイベントも戻っている。スーパー等の巣ごもり需要は落ち着 き、外食テナント等は家族・友人知人が集まる場所としてコロナ禍前を上回る 状況。引き続き、土日祝日の夕方6時以降は買物後早めに帰宅する傾向がある。 マスク廃止後も着用率には大きな変化はなく、個人判断で対策しながら通常の 消費生活に戻そうとする傾向を強く感じる。
	小売業（生花店）	花の仕入れ価格の上昇に伴う商品価格の上昇を、客（消費者）の認知度が低い ため、個別に説明することが多くなった。
	小売業（米穀）	物価高対策で、新入社員の初任給がアップするとか、給料がアップするとか一 部の大企業で言われているが、某中小の経営者は、働く人のことしか考えてい ないと言っていた。使っている側の事を考えてない。給料の良い方に転職する 人がいるそうだ。
	都市型ホテル	ホテル業界は、この新型コロナウイルスの影響を一番早く受けて、回復が一番 最後になることから、影響の受けやすい業種である。今後、コロナ禍前の7割回 復が見込められるが、なぜコロナ禍前までとまらないかは、「やらなくてもい い宴会・少人数の婚礼」の増加を感じている。実際、永久雇用でもない昨今、 仕事アフターまでの付き合いが、過去の社員旅行同様に減少傾向と見込まれ る。また、この業界は低賃金のところから、人員不足も課題となり、本来の サービスができないことから、ホテル経営は厳しい状況は続き、クオリティは 下げざる得ないと思う。
	都市型ホテル	どの職種の人にも聞いても、人手不足が問題とのこと。我々のホテルも同様では あるが、それだけ、景気も回復していると判断している。
	都市型ホテル	相変わらず物価が高い、食料品や生活必需品まで値上がりしている。給料が上 がらない庶民は、節約して生活費を削っている。企業の景気が回復してきた が、庶民の生活は良くなっていない。
	タクシー運転手	街の活気が戻っている。外出者が増えている。
	タクシー会社	周りの人達で、旅行やディズニーなどに行っている人が増えている。
	サービスエリア	飲食、物販共に価格の値上がりが目立つ。また、飲食店舗の求人が なかなか進まない。
	ゴルフ場	来場客の雰囲気明るくなった。マスクの廃止や仕切りが外れる等の声 が出始めており、ある程度自由が戻ったことは良いことと感じられる。
	設計事務所	当社では「1人ときどき2人」シングルマイホームと題して、シングルの男女向 けの小さな住宅を発売する。これが売れるかどうか楽しみである。
	住宅販売会社	新築建売業者の在庫圧縮。
企業	農業関係者	ここ数か月、個人的に購入したいと思った日用品の購入を見送っている。食料 品等も趣向品は避け、無駄と思われるものは極力購入を避けるようになった。 物価高騰の激しさについて実感している。
	農業関係者	現在においては、新型コロナウイルス、また燃料高騰による様々な物資価格高 騰による影響が多岐であり、例年との比較は困難である。今後の予測もどう変 わるのか分からない。
	製造業（窯業・土石製品）	工事車両を見かけなくなった。
	製造業（飲料）	会社周辺で大型ショッピングセンターの開業の話が少しずつ出てきていること から、建設が進めば景気に良い影響があるのではと期待している。
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの5類感染症への引き下げで、5月以降社会活動がより活発 になり、景気を押し上げてくれることを期待する。
	製造業（その他）	材料が高く、なかなか大変である。
	製造業（窯業・土石製品）	食品価格の値上げが目につく。当社でもベースアップの動きがある。
	製造業（窯業・土石製品）	食品関係で、あらゆるものが値上げされており、絶対買わなければならないと 思わない場合は、手に取ることが少なくなっている印象。
	製造業（非鉄金属）	人材が確保できない。
	金融業	電気代上昇への対応策として、補助金を活用しながら、自社ビル屋上に太陽光 発電システムと蓄電池を設置して自家消費するなど、電気代をほぼゼロにする 取り組みを行う企業努力が見られた。
不動産業	とにかく物価が高騰している。電気料金を電力会社の要望通りに行なったら、 ダメージは個人法人ともに大きいと思う。	
雇用	求人開拓員	一時的な動きだと思うが、ウクライナ戦争からの飼料の値上げによる鶏卵の高 騰・米国の景気の停滞→為替の変動・原油→価格の落ち着きがある。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	ホームページを刷新し、ウェブ重点の受注システムにしたところ、思ったより多くのユーザーからウェブ経由での注文が入り、驚いている。その反面、年配者はやはり、電話利用が多く、時代の変化を感じた。
	スーパー	エネルギーコスト（電気・ガス）の上昇により、同業者では人件費削減でのコスト削減の話が多く聞こえてくる。
	コンビニエンスストア	深夜にお喋りする若者が増えた。
	コンビニエンスストア	継続して来店客数は増えていないと考える。あくまでも、物価高の影響で販売単価が上がっていることで、売上げが上がっているというのが実態と捉える。
	家電販売店	コロナ禍の落ち着きに伴い、店舗来店客数が下がり続けている。観光などレジャー関連に支出が向いているのではと感じる。
	自動車販売店	全ての物の単価が上がっている。特に、電気、ガスの値上げによる買控えが出ている感じはする。
	小売業（酒類）	値上げの波が止まらないので、財布の紐が固くなっているのは自分だけではないと思う。それもある程度まで来ると、それでも人に会いたい、楽しみたい、出かけたいたいという気持ちには代えられないものがあると思うので、少しずつ右肩上がりを目指す。
	製茶販売	財布の紐が固くなり、床屋に行く回数も皆減っている。直接生活に関わらないことから回数を減らしたりして、金を使わないようにしている。
	レストラン	この物価高とエネルギー高で先行きが不安である。客が飲食店離れしないか不安である。
	レストラン	個人的に旅行に行く機会が増えてきている。友達もそんな感じで、そこに関しては人の動きは活発になっている。
	日本料理店	食材高騰で、利益が思うようにならない。
	和食レストラン	新型コロナウイルスの話を周りがしなくなった。
	都市型ホテル	電気代、ガス代の高騰が異常である。
	旅行代理店	マスコミが、新型コロナウイルスによる重症者や死者の数を大々的に悲観報道しなければ助かる。
	旅行代理店	買物へ行く人も少ないが、最小限の生活品のみ購入する人が増えていると聞いている。旅行案内を出しても、参加者が集まらない。皆、生活費だけで余計なこと、旅行などは行かないと言っていた。
	観光型ホテル	やっと家から出かける気持ちになってきたように感じられる。地区の会合や老人会などでも活動を始めて、団体としての動きが見られ始めた。今までのように用心しながらも、楽しみを求めて家から出かける気分になったように見受けられる。人が動けば、景気は良くなるはずである。
	道の駅	コロナ禍明けで、生活必需品より土産物の需要が増えている。
	ゴルフ場	交通量が多い。
	レジャー施設	通勤途中において、健康面やSDGsの面もあると思うが、自転車通勤している人を多く見かける。
	理・美容店	近々オープンする道の駅、ブックストアなどが良い方向に向かっていく事を願う。
クリーニング店	3月と5月の政府対策は活動の幅が増え、景気回復の原動力になるのではないかとと思う。	
企業	農業関係者	ウクライナ問題や円安等の影響を受け、食品を含む様々な商品の値上げが続く、消費者の購買意欲が低下していると感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	段ボール等の梱包資材業者より、値上げについての打合せが年に2～3回あり、同じ製品が1年に2度値上げとなったケースもあり、景気が良くなりそうな兆しがない。
	製造業（金属製品）	外食へ出かけても混雑してるし、コロナ禍前の日常に戻りつつあるような気がする。
	製造業（化学工業）	例年であれば、中国の旧正月明けから需要が上向く事が多いが、今年は今のところその傾向が見られず、回復にもう少し時間を要すると感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	資金を貯蓄に回すより消費に回すことで、景気が上向きになるはず、という考えを持つ人の話を多く聞く。また、個人消費が上向くまで、政府による財政出動による需要の創出を願う声も聞く。国庫の財政健全化は、あまり考える必要もないようだ、とも聞く。
	製造業（金属製品）	毎日のように価格変更依頼の見積書を作成している。また、納入業者からは週に数件の再見積書が送られてくる。
	建設業	業種によっては、鳥インフルエンザなどもあり、景気は良くないと感じる。
	金融業	全ての物価が高騰しており、特に今後住宅需要が減少されると推測される。
	不動産業	今後、金利上昇が予想され、土地の金額も上昇基調にあつてか、自己用住宅用地を探す人が増加傾向にある。
	サービス業（コンサルタント業）	まだまだコロナ禍の影響を受けていると思うが、人々が新型コロナウイルスに慣れてきて、経済活動も積極的になっているような感じがする。
雇用	求人広告	あちらもこちらも値上がりしているせいか、「値上げをすること」に関して客は寛大だと感じる。
	学校就業関係者	少子化及び新型コロナウイルスの影響のためか、広報（生徒募集）活動が難しい。生活必需品の高騰（特に食料品）。
	求人開拓員	人手不足を訴える企業（製造・医療関係の事業所）などから、当所の求人登録のための訪問があった。